新京日日新聞
夕刊
一月十一日
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯部專用三―二―五　營業部專用三―三―〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

聯盟の注意極東へ！

日本軍用機越境と モスクワ政府が發表

極東平和暗雲に閉すこと憂慮

（ジュネーヴ九日發國通）モスクワ政府が九日日本軍用機がソ聯領内に不法越境した事實を發表したとの報道に接し當地聯盟筋では右は最近頻發しつゝある滿ソ國境紛爭事件の一事象に過ぎずと觀てゐるが、もし右飛行機越境が事實であり且つ斯かる事件が相踵いで發生するに至れば極東の平和は益々暗雲に閉されることゝなるものと憂慮の念を深めてゐる

ユレニエフ大使 廣田外相に抗議

外相、國境委員會の要を說く

【東京國通】ユレニエフ蘇聯駐日大使は十日午後三時外務省に廣田外相を訪問昨年十月以來滿ソ國境を越境ソ聯邦へ飛行せる日本飛行機は八、九回あり、殊に最近ニコリスクで日本飛行機が墜落せる事實ありと抗議を申入れた、之に對し廣田外相は事實の調査を約し更に赤軍飛行機の越境問題に注意を喚起し懸案中の國境紛爭委員會に就き滿洲國は國境査定委員會を設け沿海州方面の國境確定が先決なりと主張し居ると提唱したがユレニエフ大使は即座に拒否し結論を見ずして午後五時辭去した

聖上陛下 御避寒御取止め

【東京國通】天皇陛下には毎年嚴寒の候を葉山御用邸に行幸あらせられるが、今年はロンドン軍縮會議を始め政務御多端のため行幸あらせられず、新年御講書始の御儀は幾分御早目に來る十四日、御歌會始の御儀は同廿日宮中鳳凰間に於て行はせられる事に御內定になつた

大黑河、ブ市間の交通遮斷は ソ聯の苦肉策

本日新京某機關へ達せる情報に依れば大黑河、ブラゴエチエンスク間の交通は一月二日午後六後以來ソ聯當局の措置に依り封鎖されてゐるが、ソ聯側が國境封鎖の理由とするところは北滿地方にペスト類似の病氣發生の爲と云ふにある、然るにこの病氣は舊臘中旬完全にその跡を絕つてゐるばかりでなく黑河附近には一度も發生したことがないのであるからそれを今日になつて理由としてゐるのは單に口實を之に求めたもので國境閉鎖の眞の理由は別にあるものと解されてゐる

即ち最近極東ソ聯各地方に於て軍隊、コルホーズ其他工場等にサボタージュ頻發し、更に進んで反革命的氣運を釀成しつゝあり、之に對し當局は必死となつて彈壓を加へつゝあるが今のところ益々擴大の徵があるので、斯る國內事情惡化に鑑み遂にソ聯當局は交通を遮斷して他に情報の洩れるのを防ぐ爲今回の措置を採つたものと觀られ注目されてゐる

驚くべきデマ

ソ聯政府當局は最近公報を以てニコリスクウスリスキー西方に武裝兵二名を搭乘せる日本軍飛行機一台飛び來り折柄耕作中の農民を拉致せんとしたが却つて擊退された、又ハバロフスク附近に於て滿人將校一名を逮捕し取調べた結果該將校は抗日思想を懷き居たるため日本軍の手により放逐されたと大々的に宣傳したと報道したが以上は全々無根の事實なれば十日關東軍では當局談として左の如く發表した

關東軍當局談＝ソ聯通信のデマは今更說明する限りではないが、近頃この種のまるで常識では考へられない樣な話ぬものから一應一般人の信ずる樣な相當專門家の作爲したと思はれるデマも仲々多くなつて來てゐる、滿洲國は眞摯なる態度で國境確定を第一の方法であることを主張してゐるにも不拘全く誠意を示さないばかりか斯んな詰らない非常識なデマを飛ばすなど全く我々が拇り合ふのもみつともない限りだソ聯の農夫を誘拐するために態々飛行機に乘つて入る馬鹿があるか、そんなことはせずともソ聯の壓迫で逃れて來る農民も尠くない、又越境して捕るものも常にあるのであつて、結局彼等がやらうと思つてゐたりこんなことになりはせぬかと考へてのことを白狀してゐると同じである

閣議決定人事

【東京國通】十日閣議で左の如く決定した

大使館參事官　伊太利在勤を命ず　松宮順

法制局長官 更迭發令

【東京國通】法制局長官更迭は十日閣議で決定、上奏御裁可を得た上十一日左の通り發令となつた

遞信次官　任法制局長官　大橋八郎
遞信省經理局長　任遞信次官　富安謙次

"今後折衝を續けるも無益なりと見透し"

永野全權からの公電到着

【東京國通】九日の日英會談の內容は十日午後十時永野全權より外務省に

公電

があつた、右は同會談の經過を事務的に記述したもので請訓ではなかつたが、右會談で永野全權は通告案の內容の如き軍縮の第二義的問題故宜敷く後廻しと爲し量的制限審議に立歸るべしと突張つたに對し英國側は日本案の全般に亘り讓步の餘地なきかを質し今後の議事手續きに就き應酬を繰返したが結局米佛伊三國とも相談しその間日本と私的會談を行ひ十三日第一委員會を再開し私的會談の成行を決定する事となり散會したとあり、その內容によれば今後折衝を續けるも無益なりとの見透しが該報告に明白に見受けられる、然し果して會談が絕望か否かは請訓を待たねばならないが何れにしても事態遷延を許さず十一日朝請訓到着次第海、外兩省協議會を開き十二日は日曜日ではあるが臨時閣議を召集、會議續行とも引揚げとも帝國政府の方針を決定する筈であるが、要は

全權

の請訓內容如何にあるが十日夜は十二時まで外務省東郷歐亞局長は加藤軍縮課長と對策を協議した

十三日の委員會 最大限案を討議採擇

【ロンドン九日發國通】九日の日英私的會談の結果英國政府は米佛伊三國代表部の同意を得た上十三日の委員會に於て日本案たる共通最大限設定案の討議を再開し可及的急速にその採擇を爲す事となつた

採擇の結果は四對一でこれを否決、茲に日本全權團の會議脫退が實現すべく事實上九日の日英會談を以て日本に關する限り會議決裂の大勢は決定した譯だ、但し我全權はその本省に對し愈々最後的指示を仰ぐ必要あり、九日の日英私的會談經過及び情況の報告とは別個に十日あたり請訓を發すべく從つて回訓を待つ必要上成るべく十三日の票決を避ける方針で多分票決はその次の會議となるべく從つて我全權の出る會議は精々僅か二回だけの見込みである

人事往來

▲中原役太郎氏（日本ポリドール社員）十日午前來京國都ホテル
▲田中軍二氏（東亞土木）同午後來京同
▲安西榮太郎氏（同）同
▲幸道貞治氏（陸軍大尉）同
▲新見千造氏（貸家業）同
▲佐藤範氏（隆昌洋行員）同
▲原田義和氏（陸軍中佐）同
▲佐藤續行氏（奉天省公署經理科長）同午後奉天へ
▲坪川與吉氏（同學務科長）同
▲山本駒太郎氏（西安煤鑛公司）同
▲久保田晴完氏（奉天醫大教授）十日午後奉天へ
▲井上良治氏（沖電氣會社大連支店長）同大連へ
▲庵谷氏（奉天日日社長）同奉天へ
▲田村亮一氏（日本洋紙會社支配人）同ハルビンへ
▲濱田中將（駐滿海軍部司令官）十一日午前大連へ
▲川村博氏（間島總領事）同延吉へ赴任
▲松本慶三氏（大連、メトロゴールドウイン出張所）十日午前來京ヤマトホテル
▲清水本之助氏（關東州廳土木課長）同
▲安田清稻氏（三菱大連支店長）同
▲渡邊渡氏（陸軍少佐）同
▲米內山震作氏（大連民政署長）同日午後來京ヤマトホテル
▲橋詰勉氏（チ、ハル電々管理局）同
▲宮下博夫氏（海拉爾會社員）同
▲森下實氏（延吉、共益社間島營業所）十一日午後來京名古屋ホテル

その日く

□日本軍用機がソ聯領で墜落したなどデマもこゝまで來ると徹底して却つて御愛嬌

□それが聯盟を刺戟「極東平和に暗影」など、今日日本におせつかいではござらぬか

□官消、商店協會の制限品引取交涉纏まる、まだぐづついてゐたものと見える

□新京取引所お久々で配當、がしかし豆の都の昔になすよしもがなは淋し

□一夜に氣溫十度上昇、といつて零下十三度と聞いちや內地ではゾッとしやう

滿洲國日系官吏エキスパートに聽く（六）

治法撤廢による稅務行政の確立へ

期待される請負制度の全廢

財政部國稅科長　田村敏雄

稅制確立上重大な意義を持つものは治外法權撤廢並に附屬地行政權の移讓の實踐第一步である

滿洲國の稅務行政は人的には治外法權により地域的には附屬地といふ無稅地帶の殘存のためにその確立が阻害されて來た、然るに滿洲國內並に附屬地における對日本人課稅權の容認によつて稅務行政上に一大躍進がもたらせられるものと確信する、勿論治外法權撤廢に關し日滿兩國の方針が決定したといふだけで未だ實施された譯でないから今後も愼重な用意と日本側の協力を必要とし更に在滿日本人の誠意ある理解と協力に待たねばならない事はいふまでもない

從來滿洲の稅制は物的課稅並に對物目擊課稅を本質として極めて原始的な缺陷の多いものであつたが、これは在滿日本人の治外法權による無稅の特權と附屬地といふ無稅地帶があつたがためで、滿洲側の課稅權は課稅物が日本人の手を離れ又附屬地より滿洲內に移行した時に始めて行使され得るといふ變態的な實情から生れたものである、それが滿洲國が創建され經濟的發展を遂げると共に國際政治上の理由によつて漸次體形化され運用の素地が出來、更に今回課稅權の容認によつて稅務行政の確立が期待されるに至つたことは滿洲國稅制の劃期的進步といはなければならない

▽……△

今年の稅制上の大事業といへば舊東北政權時代の遺物として殘されてゐた請負主義の徵稅機關の廢止である、財政部では原則として一縣一局主義を採り徵稅機關として各縣に稅捐局を設置し徵稅事務を執行せしめてゐたが、從來の請負的徵稅制度を全廢する方針の下に康德元年に差當り全國稅捐局中から四十局を選び模範稅捐局として職員の正式任命をなすと共に指導職員として日系官吏を配屬せしめ更に康德二年度に模範稅捐局十五局を新設して請負制度の撤廢に乘り出したが大體準備も整つたので今年は全國百十一稅捐局を一齊に廢止し全部模範稅捐局として國家機關とすることとなつた、これによつて徵稅の請負制度は全く無くなり、徵稅機關の整備統制は一應完成された譯である

▽……△

滿洲國における內國稅制度の整理改善は三期に分ち建國精神、民衆の生活程度、國民經濟の實情を參照し將來の發展を考慮して漸進主義により合理的整備改革を行ふ事となつてゐるが、既に第一期の應急的整理改善を了し第二期における稅制整理も一應全國的に行はれたが今年は第二期における全國的整理の仕上げ時代であると共に第三期の滿洲的稅制整理に對する準備時代である、部分的に今年中に改正すべきものとしては印花稅だけが殘されてゐるが、今年から着手される地籍の整備と關聯して地稅の準備も進めるつもりである、租稅體形の整備と共に第二期の目標は消費稅の合理化と並行して

收益稅制度

を發展せしむる基礎工事が行はれるであらう、これは滿洲國の國民經濟の資本主義化に伴ひ必然的な傾向であつて漸次必要となりつゝある、更に將來は所得稅制度の設定も考へられるので今からその素地をつくらなければならない、地租の改正は第二期稅制整理中の特殊なもので土地制度の整備をまつて作らるべきものであらう

▽……△

以上のやうに今年の稅政の問題として最も重大なる事業は治外法權の一部撤廢による日本人課稅と請負的徵稅制度の全廢であり日本人課稅に關しては稅務行政確立に對する實績は多大であるが、これによる稅政增加は全く期待出來ない、即ち附屬地においては今後二年間關東局が徵稅し滿洲國の課稅は附屬地を除く滿洲國內の日本人課稅のみであるが、日本人の國內における營業が未發達の狀態にあることゝ初年度における稅率が極めて輕度のものであるため稅收としては殆ど問題にならない程度のものに過ぎない、然し乍ら反面には從來一部の滿人が滿洲國において日本人名義を利用して行つてゐた合法的脫稅行爲と附屬地を根據として實際には滿洲國向で營業をしてゐた脫稅行爲が防止されるからその限度における增收はある譯である、又關稅に關しては保稅制度が實施され鹽務行政については近い將來における準備時代ともいへやう

今年の問題

有吉大使に 近く歸朝命令發せん

【東京國通】有吉大使に對する歸朝命令は近日中に發せられる筈であるが、それと同時に我外務省では有田大使のアグレマンを國民政府に求め、大體二月中には新大使の赴任を見る事になる見込である

有田大使 二月中に赴任

【東京國通】十日歸朝した有田駐白大使は同日午後二時外務省にて廣田外相と面會し歸朝の挨拶をなし最近の歐洲事情につき詳細なる報告をなしたが廣田外相は之に對し有田大使に歸朝を命じた理由を說明し有吉現駐支大使の後任として第二次駐支大使に就任し日支兩國々交調整の爲め善處すべきを要請したので有田大使も之を正式に承諾した、引續き重光次官との間に重要會見を遂げ午後四時半外務省を辭去した、有田大使は來週早々より同樣歸朝中の須磨南京總領事から詳細に現地の情勢を聽取し本月末歸朝する有吉大使との間に事務引繼を了し次第大體二月中に赴任する豫定である

姉妹の魅力　柳咲子作

淺草　12　【十二】

『百合子。レヴューの舞台ぢやないんだよ。おい！そんなに、物判りのいゝ子供だとは知らなかつた……ぢや、百合子は、僕に、只で買つて欲しいつて云ふんだな……』

『……………』

彼女は、消え入りたいほどはにかんでゐるのだが、然も、恥かしさと云ふものをまだ知らないあどけなさ！つまり、風船玉をこはすやうないた〳〵しいものでした。

と、中森は、

『おい』

と、急に、百合子の少女らしい顎をつかんで、仰向かせると、

『そんな、そんな馬鹿な！　可哀さうな口說き方つてあるかい？し、しつかりしろよ！』

斯う云つてゐる中森の聲も、溺に、濁つてゐるらしく、だが、それをまぎらすやうに、

『あんまり嚇しい云ひ方をして、呆れるな。さつきの、百合子の話ぢやないが、飛行機の上から心中したくなるぢやないか……百合子の旅に出るの止してしまへ！だが、もう契約が出來てしまつたんぢや厄介だな。よし！僕も行くことにしやう。この際、レヴューの脚本書きなんて商賣から、きれいに足を洗ふつもりでゐたが、百合子のために、百合子と新婚旅行のつもりで、止めた！』

『結婚は、しなくてもいゝわ』

『それぢや、只で買ふことにしやう！百合子、そら、泣くのはやめろ！姉さんが、後ろを向くとみつともないぞ』

『いゝわ！』

と云つて、無雜作な縮髪を一つゆすぶると、そこで、いつもの明るい朗かさになつて、向返りながら左手を振上げると、

『ねえさアん……』

と姉を呼ぶやうな聲で、勝子を呼んでゐたのです。

勝子は、嫉ひと不安とで、鋭くなつてゐる瞳を、一寸、振り向けたが、姉妹といふことを、知らせても差支へないことを百合子の身振りに依つて讀み取ると、ツイ、誘はれるやうな微笑を見せてゐました。

だが、その微笑も、中森には、散り殘つた一つの白い花が、風のために、かすかに動いたくらゐにしか感じられなかつた。

『あら、姉さんが喜んでゐるわ』

百合子は、勝子の微笑を認めると、中森のはうを振返つて子供のやうに、斯う云つてゐました。

勝子のはうへも、百合子の喜んでゐるのが感じられたが、だが、彼女は、百合子のことよりもやはり『幸蓉』の二階のはうへ氣をとられてゐたのです。●

そのことが、百合子にも感じられると、彼女は內心、ちよつと不滿に思つたらしいが、この時、勝子が、手にしてゐた銀牙のばちの先で、一寸、幸蓉の二階の方を指すやうにすると、直ぐ、耳の後を掻いたことに依つて、百合子にも直ぐ、謎が解けてゐたのです。

勝子が、ばちの先で、耳のつけ根を掻いた謎？――他の者には、誰にもそんな謎は解らないが、百合子にだけは、それが直ぐ解ける？――

その謎とは、一體、どんなことだらうか？三人姉妹の、一番うへの姉を、彼女達が、

『お榮ねえさん』

と呼んでゐる。總領の榮子。榮子は、今年二十六になるのですが、彼女だけは父親がちがつてゐたのです。

と、云ふよりも、彼女ひとりだけは、生れた時から父親といふ者を知らない、彼女達の母親が十九の時の娘です。

一夜のうちに十度も溫くなる
今朝の氣溫零下十三度

昨日まで零下二十數度の酷寒から十一日朝の最低溫度零下十三度、一夜の中に一躍十度近くも水銀柱が上昇した、いかに三寒四溫の滿洲とは云へ此の頃の氣候の激變はあまりにもひどい、原因につき觀測所では

今まで大陸にあつた高氣壓の中心が昨夜來南下してその中心は黃海方面に移動し一方洮南方面に示度七百六十二ミリと黑龍江下流に七百六十四ミリの低氣壓が發生したゝめ風向が南寄りに變つたため氣溫が上昇したわけで天氣は次第に惡くなり今明日中はこの天氣は續くだらう

と語つてゐる

官消對商店協會 制限品取引
圓滿に交涉成立
來る十一日から引取開始
八日の兩者會合で

新京商店協會對滿洲國官吏消費組合の制限品引取問題は客年五月十六日所謂三機關斡旋によつて兩者間に取交された協議案の

內容

に基づき爾來三機關の委囑した評價委員會に一切を委ねる事に決定し官吏消費組合側では吳服洋品雜貨等の制限品、(價格八萬余圓)を種別に明記して商店協會側に右の引取方を要求したが、其後同問題は何故か遷延日を重ねて今日まで實現するに至らなかつたところ、七日を期して急轉兩者の間に引取交涉が成立し、來る二十日迄には一氣呵成的に商品の引取を完了する事に決定した、七日午後當事者官吏消費組合側から孔理事長、古海副理事長、岩田幹事長、商店側からは石崎商工會議所會頭、四戶商店協會長外關係者が公會堂に會合中野領事、田村國稅科長、需用處中島鐵氏、小澤關東軍一等主計立會のもとに具體的協定に入り更に八日は岩田幹事長、松井商事部主任に、四戶商店協會長同業組合長等が公會堂に會し大體左記の如く十一日より廿日までの間に亙つて各種制限品の引取交涉を圓滿に遂行することに決定した

(金額は概略を示す)

日	品目	金額
十一日	運動具	五千圓
十三日	食料品	二千圓
十四日	洋品雜貨	五千圓
十六日	同	同
十七日	吳服類	三萬圓
十八日	同	同
十九日	同	同
二十日	玩具家具其他	二千圓

合計十萬九千圓

尙商店協會では右制限品引取を

終了

した日より三日間に商工會議所の小切手をもつて官吏消費組合側に對して代價支拂をなす筈である

明朝早曉に
軍政部が耐寒行軍

軍政部では新年に當り士氣を振興し協同の精神を涵養する爲最高顧問以下日系職員全員及び滿系職員の有志希望者は、明十二日午前六時忠靈塔前に集合參拜の後十キロの耐寒行軍を行ふことになつた

土產品陳列所 國際觀光局 階上に移轉

大興公司では各種滿洲土產品の商品化、企業化並に販路の開拓、取引の斡旋、地方民の副業奬勵に邁進すべく計畫を進めてゐるが、新京の滿洲土產品陳列所も今回新京驛前國際觀光局階上に移轉し、陳列內容を一新する事となり、來る十五日午後四時半より同所に各方面の有志を招待して陳列に關する意見を徵する事となつた

田口省吾師 張總理訪問

法衣一枚で極寒零下三〇度の滿洲に軍隊慰問並に精神作興講演のために來滿した田口省吾師は十一日午前九時國務院に張總理を訪問した

邦人宅荒し 強盜捕はる

昨年十月二十三日午前零時ごろ、興順街三十九號滿都工業洗布所松本義雄氏方の表門扉の施錠なきを奇貨とし同所より構內に忍び事務室裏戶の南京錠を鐵棒樣のもので破壞し奧の仕上室に侵入し仕上洋服背廣三ツ揃時價五十五圓外衣類五十二點時價千三百六十三圓を竊取した犯人について總領事館署谷口刑事の一隊が極力搜查のところ前記竊取された洋服が城內西五馬路の滿人質店に入質されてゐるを發見し俄然活動を開始し入質者の人相から推して犯人の一味は孟家橋溝子北沿內七二號孟昭光(四六)、同宴世江(三二)外一名の仕業であることを突止め十日午後九時ごろ前記孟方を襲ひ孟並に宴外一名を逮捕し取調べたところ右犯行の一切を自白し入質衣類、洋服二十五點を發見した

川村總領事赴任

間島總領事に轉任の前新京總領事川村博氏は家族同伴十一日午前十時廿分新京發の列車にて東條司令官、廣石署長始め國防婦人會その他一般有志日滿軍官民多數の盛大な見送りを受け京圖線にて赴任した

警部級小異動

酒井四平街署長、新京署執行主任佐藤警部の轉出に伴ひ關東局警務部警務課では十日午後左の如く署員の異動を發令した

貔子窩署長警部　井上理吉
補四平街署長
旅順警察官練習所警部　末光高義
補貔子窩署長
新京署警部補　木下寬祐
任警部　命新京署勤務
營口署部長　藤野忠義
任警部補命新京署勤務
四平街署長警視　酒井碩二
命練習所教官兼州廳警察部勤務
新京署警部　佐藤寅之助
同上

初公判に裁く 離婚請求訴訟
十三日午前九時から

博士、地方事務所長を證人として黑白を爭つてゐる地方事務所經理係長秋原準氏同妻りんさんにかゝる離婚訴訟の第四回公判は十三日午前九時から總領事館裁判所で花輪裁判長係で開廷されるが同公判は原被兩告の出廷證人として同家女中進藤ミヨコさんの再訊問、大內喜光氏が出廷するいづれに軍配が擧るか、原被兩告の對質訊問こそ興味ある裁きである、なほ同公判は總領事館の初公判である

金陵大學生街頭デモ
刑事二名重傷

【上海十日發國通】北支自治反對の學生運動は南京行列車を阻止して以來一時平靜に歸つたかの感があつたが最近同運動は赤色分子の積極的應援を得て再燃の形勢あり今後その成行は多分に危險視されてゐる、去る八日の如きは南京金陵大學生全部救國會の旗を高く揭げてデモを敢行し氣勢をあげた上街頭デモに移らんとした時同大學生の動靜を內偵して居た刑事吳某、卓某の兩人が之を阻止したゝめ大亂鬪を演じ學生多數は負傷し前記兩刑事は瀕死の重傷を受けた、二名の刑事は直に附近醫院に收容應急手當を受けて居るが生命危篤である、尙各關係筋が最も憂慮して居るのは來る十五日救國會代表と蔣行政院長との會見の結果で事態は之により急激に展開し中國全土に亙る各學生運動が或は惡化するのではないかといふことである

室町、白菊兩校の收容難緩和さる
新設兩校開設で十一學級增加

新設第五、第六兩小學校の開校は豫定より多少遲れて本月二十八日とし目下手續中だが兩校開設の結果は現在の兒童收容難が頗る緩和され、各學校の定員學級は西廣場、八島兩校は現狀維持、白菊、室町兩校は現在よりうんと減級されることゝなつてゐる、即ち

學校	現在學級	新學級
西廣場	二四	二四
白菊	二七	一七
第五	―	一七
室町	三二	二六
八島	二三	二三
第六	―	一〇
計	一〇六	一一七

でさし當り十一學級の增加に止まるが、而し今春四月の新入學並に轉入者增加は現在豫想し得べくもない狀況でこの點には當局でも頗る氣に病んでゐる、なほ白菊校減級の結果は今春四月より同校に高等科も附設されるはずで現在の室町校高等科は二分されることゝなる、家政女學校はそのまゝ室町のみに置く筈である

御心配かけて 申譯ありません
加藤君搜查隊に書を託す

【ハイラル國通】京大加藤學生隊長は搜查隊に託して十日中山〇團長宛左の如き書を寄せた

謹啓、早速ながら本九日ハイラル騎兵〇團、領事館、北省公署、警務廳の救援自動車隊が來て下され新聞の報道に大いに驚き深く遺憾に存じました次第であります、一同大いに元氣にて決して左樣な事はありませんでした、早速引返す可きところ遠征隊の名譽にかけても豫定通り登山、二十四日頃貴地に歸着する豫定であります、御心配かけました事、又救援隊を御寄せ下さいました事を感謝致します　ホンホルジー事務所にて　加藤外一同

本年度練習艦隊 司令官は吉田中將

【東京國通】本年度練習艦隊は磐手、八雲兩艦を以て編成する事に決定、二月一日附け發令をみる事になつた、司令官には前軍務局長吉田善吾中將が內定して居り編成後內地に於る訓練を行ひ四月上旬アメリカ訪問の途につく豫定である

橋頭方面の 鮮人部落匪襲

【奉天國通】昨九日午後九時頃安奉線橋頭附屬地西方三邦里の朝鮮人部落に紅軍匪百餘名來襲、暴虐の限りを盡し逃走したがその際鮮人二十餘名行方不明となつた、急報に接し本溪湖署より田上署長以下二十六名現地に急行目下急追中である

學生デモ團 省教育廳を荒す

【廣東十日發國通】九日午後七時頃激昂せる學生デモ團は省教育廳に雪崩れ込み机、椅子等を手あたり次第破壞し遂に暴動化した爲公安局は非常召集を行ひ鎭壓に努める一方十日朝にかけ首謀者の檢擧を行つた

無言の凱旋
明日午後新京着十三日發南下

酷寒四十有餘度北滿の地で積雪を蹴散らし鬼神をもなかした勇士が不幸敵彈に斃れて護國の鬼と化した廿有勇士が凱旋する、明十二日午後三時二十七分着列車で圖們から二體同三時四十分着ハルビンから十九體、同夜は高野山金剛寺でお通夜を營んで翌十三日午前九時三十分發列車で新京に假安置の六體と合して三十七體の英靈が南下無言の凱旋をなす

天氣と氣溫

明日の天氣　西の風小雪後晴
日の出　午前七時十三分
日の入　午後四時二十二分
月の出　午後八時十二分
月の入　午前八時四十五分
けふの氣溫　最高零下一度四　最低零下十二度九

運動

瀧三七子孃 モスコー着

新京が生んだ銀盤の花形、我等が瀧三七子孃は十日無事モスコーに到着左の電報を本社に寄せた

無事着いたよろしく　瀧

日本氷上選手 九日伯林着 昨日大會地へ

【ベルリン九日發國通】オリムピック冬期大會に出場の日本スキー選手一行廣田團長、高橋、秋野兩コーチ及び選手十名は頗る元氣で九日はベルリンに到着した、一行は九日夜井上代理大使の歡迎晩餐會に出席、十日ガルミッシュに向け出發し即日練習を開始する筈である

オリムゼック 馬術選手決定

【東京國通】第十一回國際オリムピック馬術競技參加の陸軍選手は次の如く決定し十日陸軍省より發表された

騎兵大尉西竹一、騎兵中尉稻波弘次、騎兵中尉岩橋學、騎兵少佐大瀧淸太郎、騎兵大尉松井麻之助

十年度庭球ランク

【東京國通】昭和十年度日本庭球ランクは左の如く九日聯盟より發表された

△男子日本庭球シングル
一位　山岸(慶應)
二位　平井(慶應)
三位　倉光(關大)
四位　藤倉(明大)

△ダブルス
一位　山岸・平井(慶應)
二位　安部・川地(早大OB)
三位　藤倉・塚田(明大)

△學生庭球シングル
一位　倉光(關大)
二位　藤倉(明大)
三位　平井(慶應)

△ダブルス
一位　高橋・村上(慶應)
二位　藤倉・塚田(明大)
三位　藤井・倉光(關大)

滿洲醫大決勝へ 明大を擊破
全國學生氷上ホッケー

【東京國通】八日午後五時から芝浦スケートリンクに於て擧行された全國學生アイスホッケー準決勝戰に於て滿洲醫大は左の成績で明大を破り、決勝戰に於て立大と覇を爭ふことゝなつた

スコアー
滿洲醫大　2―1　明大

街の日記

今月下旬に 長春會

長春會幹事は十日夜公會堂に集合協議の結果本月下旬新年宴を兼ねた會合を催すに決定したが前回の創立準備有志會でさへ五十余名の出席があつたところから推して少くとも百數十名は集る見込みで各種の計畫を進めてゐる、會場は公會堂、會費は五圓程度で酒辨當を用意し長春時代からの料亭寄附の藝妓手踊、本職の萬歲、會員の希望出演の演藝等の余興も加へられ先づ開會後暫くは懷舊談を試みて後に開宴の筈である

日本メソヂスト 新京敎會集會

(東朝陽路二〇一、大同公園西約二丁)
十二日午前十時十五分
「先づ神の前にひれ伏して」大友牧師

日本基督新京敎會

一、日曜學校　自午前九時
二、朝拜　自午前十時十分
「羅馬書の主題」吉川牧師
三、夕拜　自午後七時
―使徒行傳研究―
「パウロの傳道報告」吉川牧師

日の出を拜する つどひ

十二日(日曜日)朝七時より西公園誠忠碑前にて(新京日出時刻七時十三分)市民早起會七時二十分　御出席歡迎!

泰東日報 駐京辨事處移轉

泰東日報駐京辨事處では十日自强街十九番地へ移轉した電話二―三七四九番

今晚の主なる放送番組

▲六・三〇舞臺劇「槍踊り」(東京)―新橋演舞場より中繼―曾我廼家五郎一座▲七・五〇日本民謠組曲(東京)

粉雪降る

三寒四溫の四溫に入つて二、三日暖かつたがけふ晝すぎ一時十五分ごろからちよつと卅分間位粉雪が降つた、一時ごろの氣溫が零下一度八分、洮南赤峰を通ねた低氣壓が東進して降雪をみた

室町校書初め展

室町小學校では十一日から十三日まで講堂で書初展覽會を開催中

あす(十二日)

△遺骨新京着　午後三時二十七分二體　同三時四十分十九體　同夜金剛寺で通夜
△軍政部耐寒行軍　午前六時忠靈塔前集合

映畫と演藝

JO製作方針を變更 異色作に主力

JOスタヂオでは東寶と提携して目下「小唄礫」「勝太郎子守唄」を製作中であるが、今回大澤、樺山、上野の諸重役協議の結果「JOの如き特殊會社が既成映畫會社の方針を踏襲するは不得策」として製作方針に變更を加へる事になつた、これによりJOは本年度に於ては從來の如く普通作品は製作せず專ら異色作品のみを狙ひ打ち的に製作する方針で目下大體決定せるプランは左の如くである

△阪東妻助主演映畫、青柳信雄監督△ダグラス・フェアバンクスによる日本を背景にした輸出映畫△アーノルド・ファンク博士によるスキー映畫△來年三月歸朝する某女流聲樂家による音樂映畫

映畫スターは働きもの 蒲田下半期の勞働日數

とかく映畫俳優と云ふものは毎日御馳走を食つて多くの人からチヤホヤされてのんきに構へてゐるもの也と見られてゐるが「實際に於てはさに非ず」と蒲田では今年度下半期（六月より十一月迄）の各俳優の撮影日數を調べあげて左の如く發表した、男優では河村黎吉が、女優では桑野通子がトツプを切つてゐる

一六七日河村黎吉、一六六日坂本武、一六二日如月輝夫、一五七日上原謙、一三九日小林十九二、一三三日阿部正三郎、一二六日笠智衆、一一一日日下部章、一〇九日近衛敏明、一六一日桑野通子、一五四日水島光代、一四二日高杉早苗、一三六日築地まゆみ、一三一日忍節子、一一六日吉川滿子、一一五日飯田蝶子、一〇七日大塚君代、九五日田中絹代、八三日川崎弘子

三月入學試驗を前に「試驗地獄」を日活で映畫化

日活多摩川撮影所では嘗て新國劇が上演好評を博した竹田敏彦氏作社會劇「試驗地獄」を小田喬脚色倉田文人潤色監督で映畫化する事になつた三月の中學校入學試驗を前に兒童教育に腐心する各家庭に贈らうと云ふ企畫で一月中旬から撮影開始する、キヤメラは氣賀靖吾が擔當、主なる配役は左の如く決定した

西岡健亮（高木永二）妻靜江（瀧花久子）、息子郁造（中田弘二）姉蓉子（黒田記代）弟貞雄（小島一夫）中島平助（吉井康）妻康子（近松里子）娘紀美子（櫻美代子）家庭教師平塚（津村博）戸田巡査（島耕二）

映畫 "惡夢" ―メトロ―

ヴアン・ダイクの「男の世界」「影なき男」程に面白いものであるとは思へぬがこれはこれで相變らず親しみの持てるポーエル、ロイの演技が愉しめるのであるくだけた嫌や味のないお互の持味が好ましい反スウの味を傳へてゐる。賣れつ子の辯護士が仕事に追はれることから家庭を省りみない間に妻が偽詩人の誘惑にのるまでの前半はありきたりな仕組みであるが後半殺人事件が突發してから俄然面白くなる、犯人は妻であると思はれた妻が犯人でなく、辯護士である夫の追求によつて殺害された詩人の情婦が眞犯人であることが判り、しかもこれを正當防衛として無罪にするまでの一瀉千里のたゝみ込み方はウイリアム・K・ハーワードの凡庸ならざる所を强調してゐる、ポーエルの辯護士ぶりは颯爽としてゐて痛快、マーナ・ロイは家庭的な不滿を秘めて動く前半の演技がいゝ、大衆向き娛樂映畫であつた（N生）

メトロ社の陽春陣 六大作品提供

新春の外畫界に「支那海」と「極樂槍騎兵」を提供するメトロ社にはグレタガルボ主演フレドリツク・マーチ、モーリン・オサリヴアン助演の「アンナ・カレニナ」及びアン・ハーデイング、ハーバート・マーシャル、モーリン・オサリヴアン主演「晩春」の二傑作が既に入荷してゐるが更に陽春シーズンを目がけて左の特作六本を輸入する

「一九三六年のブロードウエイ・メロデイ」ロイ・デル・ルース監督シヤツク・ベニイ、ユナ・マーケル、エリノア・ボウエル、ジユーン・ナイト主演「パウンテイ號の叛亂」フランク・ロイド監督クラーク・ゲーブル、チヤールス・ロートン、フランチヨツト・トーン主演「ビシヨツプ・ミスビヘーヴス」イー・エー・デユポン監督エドマンド・グエン、モーリン・オサリヴアン主演「ザ・マーダー・マン」テイム・ホエラン監督スペンサー・トレーシイ、ヴアージニア・ブルース主演「ランデブー」ウイリアム・K・ハワード監督ウイリアム・ボウエル、ロザリンド・ラッセル主演「オショーネッシイス・ボーイ」リチヤード・ボレスラヴスキイ監督ジヤツキイ・クーパー、ウオーレス・ビアリイ主演

新栗 甘栗太郎 新京吉野町銀座 電話二―八八七

"長春座寫眞替り"

長春座十二日よりの番組は正月第三週プロに編成されてあつたまゝ左の如く三本立の編成である

△右太プロ「海内無双」瀧澤英輔作品、市川右太衛門佐久間妙子主演△蒲田「彼女は嫌やといひました」島津保次郎作品、桑野通子、高杉早苗、齋藤達雄主演△下加茂「きつちよの秋太郎」星哲六作品、大内弘主演

英國の音樂映畫「夕暮の歌」

英ゴーモン社作品、英國の生んだプリマドンナ、イヴリン・レイ、スペインの歌姫スベルヴイアイアの顔合せ映畫で英國最大の音樂映畫と稱せられる、監督は「永遠の緣」のヴイクター・サヴイルで華麗な粉飾が畫面一杯に横溢してゐる中で、藝術と藝術家の世界をつきつめて見てゐる所に興味がもてる、ドイツもの、アメリカものとまた違つた喜びが愉しめるであらう、十一日より豐樂劇場上映、スチールはその一場面

一九三六年洋行行進曲 渡歐する音樂舞踊家

一九三六年を期して朗らかな洋行行進曲を奏でる音樂舞踊家にテナーの藤原義江氏と同じく松山芳野里氏と智惠子夫人、舞踊家の崔承喜、田澤千代子の兩孃がゐる、先づ藤原氏は伊太利行きが對エチオピアとの問題で挫折したが往時オペラ・コミックの花形歌手として活躍したことのあるクヅネツオヴア夫人の來朝を機として陽春の頃巴里に同道、オペラコミックでオペラに出演の話が纏つたし松山芳野里氏は宿願叶つてピアノをやり聲樂も達者な愛妻智惠子さんと同道で來秋アメリカから歐洲に音樂行脚に出掛ける、人氣の頂點にある崔孃は十一月を期して渡歐、巡演しながら研究して來ることになつてゐる田澤千代子孃は既に洋行の準備を整へしかも海外に日本固有の藝術を紹介すべく日本舞踊に精進し一日一つの割合で踊を覺え込むといふ素晴しい意氣込みである、これも來秋アメリカを振出しに歐洲各地を見學する豫定である

△「浮かれ姫君」に主演したネルソン・エデイは更にジヤネット・マクドナルドと目下「ローズ・マリイ」に主演中だが近く完成と共に全米音樂行脚に出る事になりその間廿一ケ所の放送局を通じてファンに美聲を聽かせると

△フリツツ・ラングのメトロ入社第一回監督作品は最近米國に於けるセンセーショナルなリンチ事件を根據としてノーマン・クラスナが執筆したオリヂナルの暴露物を製作する事となり題名を「モップ・ルール」と決定した

お寫眞は乾へ 銀座 電話3-3025

雜音

「夕暮の歌」「タムタム姫」「春の調べ」等三本と共に國籍の違つた映畫が期せずして集つた、珍しい事である▲「曉の麗人」を配した帝キネの當りが豫想されるが、浪曲トーキーを配した新キネの不均衡な編成が案外客を惹くかも知れない▼「都會の怪異」を配した豐樂聊か弱く、長春座が二番線を掲げて逃げ一日晩れて次週の初日をぶつけるなど興味深いものがある▼水の江ターキーの賣込みが來てゐる、奉天までの話は決つたが新京は未だ決らないといふ、ターキーの人氣がそのまゝ滿洲でも通用するかどうかは疑問だが、あれやこれとまた暫く面白い話題に花が咲くであらう

今日の演藝街

▽長春座―十一日まで、田中絹代、高田浩吉の「お琴と佐助」阪東好太郎の「血煙荒神山」ニュース「日本」
▽新京キネマ―十一日より、杉狂兒、澤村貞子の「軍國子守唄」ヘデイ・キースラーの「春の調べ」
▽帝都キネマ―十一日より、高田稔、伏見信子、山路ふみ子、霧立のぼるの「曉の麗人」嵐寛壽郎の「右門捕物帖花嫁地獄變」ジヨセフイン・ベーカー、アルベールプレジヤンの「タムタム姫」
▽豐樂劇場―十一日より、イヴリン・レイの「夕暮の歌」中野英治、千葉早智子の「都會の怪異」七時〇三分

居住消息

▲藤薫氏（福岡縣）日本橋通り五十六番地へ
▲上田金彦氏（京都府）吉林から祝町二丁目十七番地ノ四へ
▲降幡淸宗氏（長野縣）橋頭から山吹町二丁目九番地へ
▲佐藤又吉氏（岩手縣）鷄冠山から菊水町二丁目十六號ノ一へ
▲若杉金治氏（新潟縣）鐵嶺から千早町三番地へ

轉居

▲瀨尾久男氏 東安路から祝町三丁目三番地へ
▲大内正藏氏 日本橋通りから興安通り三十一番地菊地ビルへ
▲山下始氏 羽衣町から近埠胡同四百一號へ
▲榎智達氏 錦町から東光胡同三百一號都南嶺へ
▲稻垣茂一氏 常盤町から錦町三丁目十三番地へ
▲大塚力氏 露月町から羽衣町二丁目六號ノ三へ
▲日和佐喜之氏 通化路から富町一丁目十七番地へ

出生

▲山田廣氏（錦町三丁目五番地）長女康さん廿八日出生
▲赤塚吉兵衛氏（千早町三丁目五十九號）男芳民さん一日出生
▲久保田勇氏（石碑嶺）女容子さん五日出生

死亡

▲三木茂氏（錦町四丁目二十五番地）長女良子さん九日午後三時三十分死亡

一月十二日　舊十二月十八日　日曜　癸巳　大安　定　房宿

●一白の人 一歩は一歩と目的の地に近づきつゝある日 甲と乙と丙が吉
●二黑の人 他の欺瞞に陥り易き日商談殊に注意すべし 庚と壬と癸が吉
●三碧の人 我意を張らず心を緩やかに持ちて安泰なり 乙と丁と辛が吉
●四綠の人 利を見たら退くべし其上慾張らば損あり 乙と辛と乾が吉
●五黄の人 自力にて捗らぬとも他力を頼まず進むべし 庚と辛と癸が吉
●六白の人 從來通りの業務に親むが安全新事移轉等凶 乙と巽と丁が吉
●七赤の人 福祿薄くとも悲觀するな時機の來るを待て 乙と庚と癸が吉
●八白の人 富貴榮達を夢みて空想に終る甲斐の無き日 丁と庚と癸が吉
●九紫の人 運途中吉なれば大事さへ企てずば過ち無し 庚と辛と癸が吉

躍進目覺ましき 滿洲電電會社 創立以來の跡を辿る (二)

第二、電信事業

一、漢文電報の不便 滿洲に於ける電信事業の利用の最も顯著なる點漢文電報の利用の極めて僅少なることである之を最近の平常時に於ける電報發信通數に就て見るに、次の如き數字を示して居るのである

即ち和文電報約一萬二千通その全通數に對する割合は約八割で漢文電報は約三千通で其割合は全通數に對し約二割其の他は歐文電報である

滿蒙の人口は三千萬と稱せられて居るが、その中日本內地人の數は四十萬を出てないであらう

即ちその人口數に於て滿洲人の七十五分の一に過ぎない少數の日本人に依つて發せらるる電報が前述の通りであつて之を人口當り利用率から見れば日本人の利用率は滿洲の夫の約百五十倍に相當するのである、此の事實は如何に日本人電報の利用度が大なるかと云ふよりも如何に滿洲人が電報の利用に緣の遠い國民であるかを窺ふに充分である、其處で同社は此方面の開發に努力を拂ひつつあり漸次利用者も增加するものと觀測される

二、和文電報の進出 和文電報は事變前に於ては、日本行政權下即ち關東州及滿鐵附屬地に限られ、足一歩附屬地外に出づれば、日本人と雖も不便にして高價なる漢文電報又は歐文電報を利用する外はなかつたのであるが同社成立以來著々として北滿各地にその取扱を開始し、苟も日本人の住む所例へ一人たりとも假名電報の利用圈外に置く可からずとの目標の下に殆んど凡ての電報局に之が取扱を爲すべく計畫を進めつつあり同社成立以來の和文取扱開始局所約二百二十箇所、滿洲國行政權下に於ける之が取扱通數は最近一箇月約四十二萬通に達する盛況である、近時日滿關係の緊密化と共に滿洲人間にも和文電報の利用增加を見つつあるは注目すべき現象である

三、日滿通信 斯線に日滿間の電報通數は事變以來兩國關係の緊密化と共に、躍進的增加を續けつつあるのであるが、最近一日間の彼我間通信數は一萬四千通を越ゆるの盛況である、之が疏通の爲めには、長崎大連線、佐世保大連線の兩海底線を始めとし、滿洲側に於ては、大連、奉天、新京、ハルビンの各地日本側に於ては東京、大阪下關の諸都市を端局とする有線及無線の十回路を設けて流通に努めて居るが、飛躍的に增進する日滿電報の趨勢に鑑み、同社は遞信省と呼應して安東奉天間に工費約二百六十萬圓を投じ地下ケーブルを布設して日滿通信の輻輳に備ふべく目下工事を進めてゐる

四、對外通信 同會社の手に依り運營せられつつある對外通信の主たるものは、對歐米通信である

即ち新京無線に依り對米、對獨、對佛の國際通信を爲しつつあるのであるが、本通絡は同社成立前關東軍に於て運用せられて居た奉天無線に依る國際通絡を繼受して實施したるもので、現在の設備は對米は北米サンフランシスコとの間に會社は二十キロの電力を以て二十四時間連續通信を爲し、對獨對佛は獨逸ベルリン無線局との間に同じく二十キロの電力を以て無休連續通信を實施して居るのである、その設備は何れも昭和九年春工費二百萬圓を投じて建設せられたる世界に誇る純國產に依る設備であるが、そのサーヴイスは漸次國際的聲價を高めつゝある

對支通信は事變以來哈爾濱無線に依り北平上海天津の各地と通絡を保持し來り未だ一度も連絡を杜絕したことはなかつた其後北平上海は先方の都合に依り連絡を廢止したが、然るに其後に至つてハルピン對上海及芝罘との間に通信開始せられ、結局現在に於てはハルピンより、天津、上海、芝罘の各地に無線通絡を有して居る

其他對支通信としては大連芝罘間水底線の通絡は從來通り保持されて居り又最近北支通郵問題解決の後をうけて、奉天と北支との間に通電の解決を見、奉天天津間二重通信に依り每日五、六百通の電報を疏通して居る

對蘇通信は從來北鐵電信系を通じて通信されてゐたのであるが、北鐵買收後は臨時の便法として鐵路總局の線を利用して哈爾濱浦鹽間直通線に依り蘇滿間の通信を實施して居る、尙正式協定の爲めに目下關係當局に於て蘇聯側と交涉中であるから何れ遠からず正式通絡の實現を見ることとなららう

尙國際通信に關しては將來滿洲國の發展興隆に寄與すべく國際情勢の進展に應じ極力之が開拓に努めて居る

五、無線通信 滿洲の如き廣漠として通信の利用集約的ならざる地域に無線通信の發展を見るのは勢の免れ難い所である

電々會社の對外通信の殆んど凡てが無線に依つてゐるのは別として日滿間にも有線の有力なる補助回線として數回路の無線回路を持つて居る

又國內に於ても重要都市間には有線の補助又は有線障碍時の豫備として無線の施設を有するのみならず今後邊域の地に電信局所を開設する爲には有線にては莫大なる線路費を要する關係上差當小規模無線を利用するの外なき地點も尠くないとし同社では其對策を樹ててゐる

六、北鐵買收と電信電話事業 北鐵買收は當然電々會社の北滿に於ける電信施設に一大變革を齎らしたのであつた、即ち北鐵は從來條約上の特權として其鐵道業務を經營し、公然各驛に於て公衆電報電話の取扱を爲してゐたのであるが北鐵を滿洲國が買收し之を鐵路總局に委任經營せしむることとなるや、滿洲國の通信政策に基き公衆通信業務は一切擧げて電々をして繼承經營せしむることになつたので茲に北滿通信界の癌は除かれ北鐵各驛には同社の電報電話の取扱所が急速に配置せられたのである

一月上旬 對外貿易額

【東京國通】大藏省發表＝一月上旬內地及び外地對外貿易概算左の如し、(單位千圓)

輸出	二二、〇一一
輸入	三七、一七四
合計	五九、一八五

尙一月上旬內地重要品輸出入額左の如し

品名	額
△輸出	
小麥粉	二五五
罐瓶詰食料品	六六二
綿織糸	二八四
生糸	三、六〇七
綿織物	二、八九九
絹織物	八一八
人絹織物	九四六
メリヤス製品	四三二
△輸入	
小麥	一、〇六二
豆類	一、七三八
原油及重油	一、六二一
棉花	七、五〇三
羊毛	一、八二四
鐵	一、六三一
機械	七一二
木材	四〇二

滿鐵本年度の洋灰發注決る 劈頭安値の亂戰振り

舊臘滿鐵の臨時引合に對し新滿洲對策の片鱗を見せたセメント聯合會では更にその後發注せられた滿鐵の昭和十一年度用二百五十八袋に

對し

新對策の精神に則り强引なダッシュを行ひ大連岸壁渡し一袋六十五錢、雄基、羅津陸上渡しの北鮮物に對し何んと六十七錢といふ値段を以て小野田側に對抗して新滿洲對策の鋭鋒を現すに至つた

即ち滿鐵では舊臘末本年度用として大連渡三十萬袋北鮮渡し四十萬袋奧地物百八十八萬一千袋、合計二百五十八萬袋(このうち本年五月頃完成豫定の小野田古茂山工場引當の二萬五千袋がある)の引合を發し聯合會及び小野田社側では夫々萬全を盡して引合に參加したが(小野田社では遂に北鮮物に對しては見積りを辭退するに至つた)その結果は聯合會側の前記の如き安値引合が見事に奏功し北鮮渡しは全部を又大連渡し品は小野田社側と等分で十五萬袋合計五十五萬袋を奪取するに至つた

而して前記大連北鮮奧地物の割當の詳細は左の如くである

北鮮物(雄基、羅津陸上渡し一袋六十七錢)
聯合會　四〇〇(袋)(このうち二萬五千袋は小野田古茂山工場に引當)

大連物(大連岸壁渡し一袋六十五錢)

聯合會	一五〇、〇〇〇袋
小野田社	一五〇、〇〇〇袋
奧地物	
撫順セメント	八五五、〇〇〇
大同セメント	四〇〇、〇〇〇
ハルピンセメント	二五〇、〇〇〇
滿洲セメント	二〇五、〇〇〇
滿洲小野田泉頭工場	一六五、〇〇〇
關東洲小野田鞍山工場	一六〇、〇〇〇
小計	一、八八一、〇〇〇
總計	二、五八一、〇〇〇

でこれを以てする限り今後の滿洲市場に於けるセメント市價は在滿各社の操業開始と共に漸次崩落して行くものと

豫想

せられ新春劈頭からのこの亂賣戰は「本年度のセメント界も必ずしも樂觀を許されず」といふ危險信號を現はしてゐるものといふことが出來る譯である

新京取引所漸く五年振りに配當 十日の重役會で年六分と決定

新京取引所信託會社は大正七八年頃より大正十年頃までの取引所好況時代には配當一割二三分あつて其株も十二圓五十錢拂込で七八十圓の呼値であつたが其後無配當となり大正の末より再び五分配當を昭和五年迄續け流石に取引所信託の面目を維持して居たが昭和六年度より殆ど取引なく事務所の家賃も拂へぬ始末で全く青息吐息の不況に終始してゐたが九年度に至つて漸く不況を恢復し往時に歸り一日數千車の出來高を見る事となり五年目に配當をなすと云ふ好況ではないが取引所の存在價値だけは認められるに至つた

即ち十日午後一時より信託會社內に重役會を開き滿鐵本社より三輪監査も出席し山下專務の報告を受け協議の結果年六分の配當の決定を見來る一月三十日の株主總會に提出する筈

十一月中の新京經濟金融概況 (三)
=朝鮮銀行新京支店調査=

一、麥粉市況 原料小麥の出廻不圓滑に一時漸騰氣配を辿りし麥粉相場も、その後小麥の出廻り順調となりたる爲再び漸落步調となり、當地各工場は何れも多忙に操業し居り、外來粉は全く市中より影を沒して、北滿粉及地場粉の獨壇市場となりたり

月中當地への入荷數量は左の如し(單位瓲)

線別	麥粉 前月	本月	前年同月	小麥 前月	本月	前年同月
杜線新京驛	一、三四	七〇	六、三〇四	―	―	―
京濱線新京站	五、〇三三	二、〇四一	一六、六〇三	九、八一〇	―	―
京圖線新京站	―	四〇	―	―	―	―
京大線新京站	―	三〇	―	―	―	―

月中相場左の如し

品名	上旬	中旬	下旬
	圓	圓	圓
一等粉(綠三星)	三、三五	三、四五	三、四〇
二等粉(紅三星)	三、一五	三、二〇	三、四〇
三等粉(藍三星)	三、一〇	三、一〇	三、〇五

一、土建材料市況 寒氣襲來、漸次氷結期に入り居る爲、土木建築の諸工事も漸次休止姿勢となり、つれて土建材料も一服狀態となり商況閑散に赴き居れり、月中當地への入荷數量を見れば左の如し(單位瓲)

驛別	木材 前月	本月	前年同月	石材砂類 前月	本月	前年同月	鋼及鐵材類 前月	本月	前年同月
新京驛	一、[illegible]	七〇	九六	三、一六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	二、八五五
新京站	七、九二三	六、三五六	[illegible]	[illegible]	四、九六八	一〇五	―	―	―

主なる商品の月中相場左の如し(土建協會調査による)

	品名	單位	前月	本月
木材	松丸太(二間末口五寸)	一本	二、三六	二、三五
	杉丸太(押四寸末口取)	同	二、一〇	二、〇〇
	北滿松(紅)原	一立方尺	九五	九〇
	同(白)同(中等品)	同	七〇	六五
	南洋ラワン材挽材	同	二、七〇	二、六五
石材	粗石石灰石	一坪	三五、〇〇	三五、〇〇
	割栗石(一寸目)	同	一九、〇〇	一八、五〇
	石(二寸目)	同	二八、〇〇	二七、五〇
	砂	同	一五、〇〇	一四、〇〇
鐵材	丸鐵定尺六分丸	百瓩	一一、四〇	一一、八〇
	角鐵定尺六分角	同	一三、五〇	一三、五〇
	平鐵定尺二寸厚二分	同	一四、〇〇	一四、〇〇
	丸釘二吋十二番百斤入	一樽	一〇、八〇	一〇、八〇
煉瓦	機械拔一等品	千箇	二〇、〇〇	一六、〇〇
	手拔一等品	同	二〇、〇〇	一六、〇〇
	機械拔二等品	同	一六、〇〇	一五、〇〇
硝子	四等品並板	六枚入	九、一五	八、一五
セメント	淺野セメント50KG入	一袋	一、七〇	一、五〇
	小野田	同	一、六〇	一、六〇
	大同	同	一、七〇	一、七〇
	撫順	同	一、四〇	一、四〇
生石灰		一四〇斤入	一、五五	一、五五
		一〇〇斤入	一、一〇	一、一〇

十二月下旬 新京驛貨物輸送狀況と院內在貨

昭和十年十二月下旬新京驛院內貨物輸送主要品概況左の如し(單位瓩)

種別	數量
混保大豆	六、〇六〇
普通大豆	二、六四〇
高粱	三六〇
小豆	四五〇
白豆	一、一五〇
豆粕	一、二四〇
木材	二三五
獸骨	一二六
雜穀	四八四

特產物院內在貨は(單位瓩)

種別	數量
大豆	二、九七三
其他豆類	一、二九四
米籾	一、三七三
苞米	一、一一六
粟	二七五
穀類種子	八五六
豆油	一、〇五三
豆粕	一、七二七
小麥	三、七四四

昨年の棉花輸入 印棉第一位

【大阪國通】日本棉花同業會調査、昭和十年中の日本棉花輸入高は三百六十六萬七千五百七十七俵で前年に比し七十萬二千七百卅五俵と一割六分の激減を示し、前年輸入のトップを占めてゐた米棉はアメリカ政府の市價吊上げ政策の影響を受けて印棉に首位を奪はれるに至つた、品種別に觀れば印棉、米棉、エヂプト棉、南アフリカ棉、ペルシヤ棉、支那棉、トルコ棉、ペルシヤ棉の一齊漸減に反しラングン棉、ペルー棉、ブラジル棉其他新種棉の增加は顯著なるものがある、主なるもの左の如し

	(單位俵)
印棉	一、七〇六、二八二
米棉	一、四七〇、八二九
支那棉	二〇四、八七五
エヂプト棉	八四、五六〇
ラングン棉	六二、三五〇

滿洲洋灰の遼陽工場製品 近く一般販賣

滿洲洋灰公司ではかねて遼陽に年產九萬瓲の工場建設中のところ十一月末完成を見たので火入式を行ひ去月中旬から製品を出してゐるが、尙ほ一般市販には愼重を期し目下試驗檢査中であり結局今春からの需要に應ずることとなる模樣である

奉天商議 十三日初會議

【奉天國通】奉天商工會議所では來る十三日午後三時より本年最初の定例議員會を開き石田會頭、兒玉理事より

一、奉天商業學校昇格に關する件
一、奉天官消問題に關する件
一、書籍、雜誌定價販賣に關する件
一、滿洲市場紹介展覽會開催の件

等に就き報告あつた後左記事項に就き協議する事となつた

一、滿洲商工會議所聯合會を來る廿一日午前十時より當會議所主催の下に開催の件

北滿の電燈料 一部引下げ

【ハルビン國通】北滿に於る電氣料が南滿に比し著しく割高でこれが北滿工業界に著しい不利な條件をなしてゐたがハルビン電業支店に於ては此點に留意し銳意研究を進め愈々四月一日より定額燈並に動力は一割五分乃至二割の引下げを行ふ事に決した

尙康德六年迄には南滿と同率に引下げる計畫をたて着々準備を進めてゐる

商況欄 (一月十一日前場)

海外經濟電報

倫敦銀塊	二〇片二分一
同 先限	不申
紐育銀塊	四九弗四分三
孟買銀塊	五〇留比八分三
米英爲替	四弗九四仙八分七
米日爲替	二八弗九八仙
米支爲替	三〇弗〇五仙
スチール	四九弗八分五
アナコンダ	二九弗八分五
英日爲替	一志二片二六分一
英支爲替	一志二片四分三
印日爲替	七七留比四分三

▲米棉

現物	一一仙九〇
一月限	一一仙六七

爲替相場

▲上海爲替 [illegible]

▲大連爲替 [illegible]

▲阪神日米爲替 [illegible]

▲阪神日英爲替 [illegible]

株式相場

▲大阪株式(短期) [illegible]

▲大連株式(短期) [illegible]

▲奉天株式(短期) [illegible]

金銀市況

●上海標金 [illegible]

●大連鈔票銀大洋 [illegible]

▲印棉 [illegible]

▲市俄古小麥 [illegible]

▲カルカッタ麻袋 [illegible]

商品市況

▲大阪棉糸 [illegible]

▲大阪棉花 [illegible]

▲大阪人絹 [illegible]

特產市況

●大連大豆 [illegible]　●豆粕 [illegible]　●豆油 [illegible]　●高粱 [illegible]　●哈爾濱大豆 [illegible]　●同 小麥 [illegible]　●神戶豆粕 [illegible]

新京取引所市況 (一月十一日前場)

●大豆

	寄	引	出來高
定期(混合百片値段)			
一月限	三、〇〇	三、〇〇	一〇車
大豆	[illegible]	[illegible]	五車
現物(一石値段)			

高粱 [illegible]

社説

治外法權の撤廢と在滿邦人の心構へについて

治外法權の撤廢並に附屬地行政權返還に關する日滿兩國政府の方針に基き本年七月から先づ課稅權の移讓と產業、金融法規の適用が容認されることに內定した、治外法權の撤廢問題は建國以來日本朝野を擧げての誠意ある協力によつて躍進的發展を遂げた友邦滿洲國の健全なる發達とこれに伴ふ財政の確立を促進するため決定された方針であつて新國家と密接不可分の關係にある日本の國策である、この大事業の完成によつて滿洲國が享受する有形無形の利益は多大なものであり今日まで滿洲建設のために幾多の尊き人命と巨額な資本を犧牲にした我が國が發展途上の滿洲國の國礎を鞏固にするために絕大な協力である、かゝる國策的大事業の遂行に當つて日滿兩國政府ではその影響するところ甚大なるに鑑み殊に在滿邦人の利益を尊重し極めて愼重な態度で協議を重ねた結果漸進的に實施する方針を決定、先づ課稅權と產業行政權を委讓することゝなつたのである

◇

課稅については在滿邦人の負擔激增を考慮し初年度(昭和十一年)においては現行稅率の四分の一をもつて課稅することに內定したのである、從つて邦人としては政府の方針に基き徒に自己的立場のみに拘り國策を誤るやうなことがあつてはならないのみならず進んでこの大事業の達成に向つて協力しなければならない邦人側にいはせれば今まで治外法權により無稅といふ特權を有し、滿鐵附屬地といふ特殊なる無稅地帶を保有してたのであるから今回新たに滿洲國の課稅に服することは經濟的理由から相當苦痛であるに違ひない、一部において政府の方針に反對的意見が傳へられてゐるが右は前述の如く全く經濟的理由に基くものと思はれる、然し乍ら滿洲國においても治外法權撤廢のためには人件費、施設費等多大な犧牲を拂つてこれが實施をなすのであり、財政的にみれば滿洲國では當分のうちはこれによつて負擔の增加はまぬかれないといふ狀態にあるのである

◇

而も治外法權撤廢によつて利益を受くるものは日滿兩國であることを忘れてはならない即ちこれによつて滿洲國の健全な發展が助長促進され、國力の充實が期待される譯であるが、この事は滿洲國は勿論日本殊に在滿邦人の絕大な利益であることは論ずるまでもない、いふまでもなく滿洲建國に對する日本の協力は新國家の發達と進んでは新東洋建設の大目的にあつて東洋のため新興日本の生きる唯一の道である滿洲國の發展によつて邦人の滿洲進出は促進され在滿邦人の福音は一段と强調されることを確信する、以上の如き見地に立ち國策遂行の大乘的立場から在滿邦人は治外法權撤廢の大事業に努力することを望んで止まない

劈頭不信任案提出に政友會大勢傾く

黨內の對立も漸次解消

【東京國通】政友會は十一日午後二時より院內外總務會を開き、黨大會は廿日午後二時と決定する

模樣 であるが、對議會態度に關し大體の意向を綜合するに、從來內閣に多少の好意を有し居つた山本(條)、前田、中島の諸氏等舊政友系が最近に至り黨の大勢已むなしと强いて解散回避の態度を採らず寧ろ議會で國體明徵問題紛議が起るより劈頭解散、總括的不信任案を提出せよとの積極的態度に變化し黨としての强硬的態度に拍車をかけるに至つた、尙一部には議會で政府の施政糺彈後不信任案を出すも遲からずとの論もあり東北地方災害豫算、鐵道豫算の成立を望み解散回避を企圖する者もあり、不信任案の內容に就いても國體明徵問題に觀點を置かんと言ふ者もあれば政策に中心を置かんと言ふものもあり最後的黨議決定迄は相當の曲折を免がれまい、唯政府が金森法制局長官を辭任せしめ一木樞相の進退も近く決する模樣故黨內の對立も自然解消されて總括不信任で妥協なり劈頭提出が

大勢 らしいが何れにしても黨大會の宣言決議總裁演說には强硬なる黨の方針が闡明されると期待されてゐる

議會解散に反對せぬ

陸相、首相に進言せん

【東京國通】川島陸相は休會明け議會再開も切迫し來つたので連日古莊次官、今井軍務局長等軍首腦部を招致し對議會策を考究中であるが

解散 か否かに就ては國體明徵問題、軍事豫算案等陸軍關係の重要案件に關聯を持つので愼重なる考慮を續けてゐるが、陸軍としては假令劈頭解散となり豫算案の審議が不可能となるとしても臨時議會で所要計畫豫算の協贊を得れば實施の上には何等の痛痒を感じない、隨つて政友會方面より不信任案が提出され政府として解散か否かを決する場合豫算の審議不能を理由として解散に對するが如き態度に出るやうな事は絕對にあり得ぬが、軍の立場上積極的に解散を斷行すべき旨を進言するやうな事も妥當を缺くを以て陸相としては消極的な表現方式を以て議會の解散の否とに拘らず此重大化しつつある國際情勢、就中極東の現在並に將來の事態に對處するために必要不可缺なる國防力を整備して置かねばならぬが解散によつて招來される豫算成立の若干遲延は技術的に之を取返す事が可能であり、國防上に何等の缺陷を及ぼさないとの見透しがついてゐる、從つて政府に於ては解散を必要と認められるに於ては

何等 之に對し反對を表明する理由を持たぬものである旨を岡田首相に進言するに大體決意を固めた模樣である

獨裁者スターリンの胸像地に墜つ

—ソ聯各州の反政府熱—

十二月廿七日パリ發通信によればモスコー發アヂャンスラヂオ局着報として左の如く報道されてゐる、スターリン及其協力者數名は漸次人望を失し最近ソ聯邦內多數の州に發生せる各種の事件は勞農中央政府に對する大衆の敵意が漸次增大しつゝある事實を示せり十一月七日モスコー市內地下鐵停車場の殆んど全部に於るスターリン及交通人民委員の肖像剝脫せられたるのみならず更に數日を經てサラトフ公園內に於るスターリンの胸像破壞せられ又ルウエルドロー市に於てはスターリンを侮辱せるビラ撒布中の學生十八名逮捕せられたり

未解決債權整理方針協議

【東京國通】對支債權整理組合では十日午後本年度第一回協議會を開催、東亞興業、鮮銀、興銀、臺銀、大藏省の各代表出席の上從來の整理經過に就き東亞興業側より報告すると共に未解決債權整理に對する今後の方針に就き種々意見の交換を行つたが、昨年來の整理好成績の波に乘つて本年度もこれが實效を擧ぐべく邁進する事となり、近く內田東亞興業事務の再渡支を見る筈である

中松特許局長官動靜

【奉天國通】滯奉中の商工省特許局長官中松眞郷氏は十一日午前九時十分奉天發撫順に向つた、同地に於て露天掘、オイルシエール工場等視察の後同日午後五時十分再び來奉十二日午前九時四十分發本溪湖に赴き視察後湯崗子を經て大連に向ふ豫定である

沙崗海岸に「海の家」

鐵道部の計畫

【大連國通】滿鐵々道部では寒地在住民のため風光明媚な遠淺の沙崗海岸に此夏から「海の家」を造る事を計畫した、沙崗の海岸に海水浴設備を施し脫衣場、洗體用水道を造り沙崗驛から海岸までバスを運轉しようといふのである

滿人團體觀光客を

春の日本に誘致

【大連國通】滿鐵旅客課では來る卅日より二日間大連に於て本部、沿線鐵道事務所、ツーリストビユーロー三者の出席を求め十一年度旅客輸送に關する打合會議を開催する事となつたが、十一年度中に於ける旅客課の特殊なる計畫として滿人團體觀光客を日本に誘致しやうと目論んでゐる、此計畫は今春四月頃大連灣出發約一ヶ月日本各地の春を賞でやうと言ふのであるが參加人員が四百名を越す時は大汽船一隻をチャーターして港々を巡り四百名に充たぬ時は專用列車を出さうといふのである

奉天市內滿人商店動態

【奉天國通】奉天市商會調査に依れば康德二年一月以降十二月末までの奉天市內滿人側商店の狀態は開業四千四百廿三軒に比し閉業は三百七十一軒となつて居り奉天市の急激な膨脹を如實に物語つてゐる

根本大佐北平着

【北平十一日發國通】陸軍省新聞班長根本大佐は十一日午前十一時卅八分着列車で官民多數の出迎裡に天津より入平した

陝西省北部に中華ソ政府

毛澤東主席に

【天津十一日發國通】陝北一帶は目下劉子丹、徐向前、徐海東、毛澤東等の共產軍が集結するに至つたので中華ソヴエート中央政府を組織する事になり、主席に毛澤東、副主席に周恩來を任命した、更に右政府內には共產黨中央部書記ボータ外一名のソ聯特派代表があり指導に當つてゐる

スキー選手元氣で競技場へ

【ベルリン十日發國通】多期オリムピック日本スキー代表選手一行十六名は十日夜ベルリン出發目指すガルミッシユ・パルテン・キルヘンに向つた
尙ベルリン在住日本人は我

複雜化せんとする滿洲國々際關係(一)

過去は躍進、好轉の連鎖

不可分關係にある一衣帶水隣邦日本の承認に次でサルバドル共和國の承認を得た滿洲國は康德二年三月はソ聯邦との間に北滿鐵道問題を解決したのである、滿洲國の不承認決議を採擇した國際聯盟加盟國も現實的大擧には抗立する事が出來ず自發的に滿洲國と郵務協定或はその他の業務約定を結ぶ等滿洲國は創建以來獨往自主的外交方針に基いて着々その外交史を飾つてゐるのである、建國以來日なほ淺い滿洲國の國際的關係は夙に躍進好轉の連鎖にある

×

隣邦の大國支那を始めとして遠くは米國或は獨逸その他諸國との通商貿易關係も未だ全幅的に迷夢の圈內から毅脫しない國際聯盟を尻目にかけて一直線に跳躍的增進の過程を辿る現狀にある

×

滿洲國は締盟承認國である日本及サルバドル共和國或はソヴエート社會主義共和國聯邦又は獨逸等の諸外國に領事館を增設乃至は新設して通商貿易關係を一層緊密ならしむる原則的方針であるといふ、更に政府は國際的經濟關係の圓轉增進を圖るため財政部及中央銀行或はその他の派生的經濟機關を動員協力して米國獨逸、南洋スラバヤ及支那等の各國各地に貿易通信員ともいふべき機關を設置して躍進滿洲國の一層の發展に資せんとする意圖であると聞知するのであろ

×

滿洲國の國際的收支關係(一九三三四年)であるが一九三三年度に於るその受取超過額は千五百十五萬圓の數字を示し、翌年度に至つては九千九百七十四萬二千餘圓に飛躍してゐるのである、一九三三年度に於る貿易の收支關係は一億一千三百六十六萬三千圓翌年度は一億九千九百十八萬二千餘圓となつて入超を示してゐるが、之は建國以來國內の發展に要する必需品の輸入を物語るものである一九三三年度に於る貿易外の收支は一億二千八百八十一萬六千圓、一九三四年度に於ては二億九千八百九十二萬四千圓となつて受取超過を示してゐるが、此原因は無論滿洲國に對する投資關係にある、滿洲國の年度別關係收支關係を計數的に現示すると左の如くである一九三三年度の通商貿易收支關係(單位國幣千圓)

一、輸出　四五三、五二〇
一、輸入　五六七、一八三
一、入超　一一三、六六三

貿易收支の經常的支拂計一四七、六〇〇、經常的受取計一三三一、六五九、臨時受取計三三〇、二四八、臨時支拂計二一七、三七三、貿易外受取計四七七、八四八、貿易外支拂計三四九、〇三二貿易外受取計は一二八、八一六となるが、貿易及び貿易外の受取總計は九三一、三六八、貿易及び貿易外の支拂總計は九一六、二一五となつて受取超過は一五、一五三となつてゐるのである、一九三四年度の貿易收支關係は

(單位國幣千圓)

一、輸出　四五三、四六九
一、輸入　六五二、六五一
一、入超　一九九、一八二

貿易收支の經常的受取計一二、〇七九、經常的支拂計一三四、九九六、臨時受取計三六九、四〇一、臨時支拂計四七、五六〇、貿易外受取計四八一、四八〇、貿易外支拂計一八二、五五六、貿易外受取超過總計九三四、九四九、貿易及び貿易外支拂總計八三五、二〇七で受取超過は九九七四三となつてゐるのである

×

一九三四年度の貿易は輸入激增の結果一九三三年度の輸入に對比して八千五百萬圓の超過となつてゐるが、これは跛行的な所謂滿洲景氣の一翼である、近代的工業の生產的諸系の上昇に伴ふ輸出品の增加を反映するものである、輸入貿易數量の激增は直接農民大衆の購買力を對象とする消費資料が增加したとは思量されないが、支那の密輸出が豫想以上に上つてゐた事を考察すれば滿洲景氣は貿易收支關係の基本的內容に投影すると言ふ事になるのである貿易外の收支は經常的のものと臨時的のものゝ二部門に區分され結局入超の增加は此部門の增加によつて補足され全體的な受取超過を促進しなければならない勘定となるが、貿易外の受取總計を假りに百としての比率を見ると一九三三年度經常的受取總計三割一分、臨時的受取總計六割九分となるのである、更に一九三四年度に於て前者は二割三分、後者は七割三分となり臨時部門の地位は貿易外收支中の受取部門に於て決定的に大をなす事になるのである

商況欄 (一月十一日後場)

選手團に對して米及び味噌を每日送附して一行を鼓舞することに決定した

金銀市況

●上海標金 前引 二四〇、六〇 寄付 — 步 —

●大連金鈔票 寄付 一〇〇、三三 引 一一、六〇 高 一一、七五 安 一、〇三 出來高 三萬

▲一月十三日限 一月二十七日限
寄付 一〇〇、六五 (、七〇) 步 〇、七五 〇、八〇 乘 〇、八五 〇、九〇 〇、八五 一、〇〇 一、五五
引 一〇一、六〇 高 一〇一、八〇 安 一〇〇、六五 出來高 一三萬 替

●大連鈔票銀大洋 寄付 一〇九、三三 步

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向 第一回賣買 不變 第二回賣買 ‖
▲倫敦向 第一回賣買 不變 第二回賣買 ‖
▲紐育向 第一回賣買 不變 第二回賣買 ‖

大連爲替
▲上海向 一〇三、八〇 一〇三、九五 三、八五 三、七〇 三、二〇 三、一〇
▲煙台向 一〇三、七〇 三、六〇 三、七〇 三、二〇 二、七五

各地市況

●哈爾濱大豆 一月限 九、九五 二月限 — 三月限 九、六七

新京取引所市況 (一月十一日後場)

現物(一石値段) 定期(混合百斤値段)
先物 大豆 寄 一五、五〇 引 三車

▲神戸豆粕 一月限 四、二一 四、二一 二月限 四、〇九 四、〇九 三月限 四、〇九 四、〇九 四月限 四、〇九 四、〇九 五月限 四、二一 四、二一

●同小麥 一月限 — 二月限 一、四五 三月限 一、四五 出來高 —

高粱 一月限 四、九八 四、九八 七五車 二月限 四、九〇 四、九〇 四車 三月限 — 四月限 — 五月限 —

手形交換 (十日)

金票 一六枚 … 鈔票 … 國幣 八六枚 …

鮮魚小賣相場 百匁ニ付(十日)

品名	最高	最低
活タイ	一、〇〇	七二
氷タイ	三〇	二四
チヌタイ	—	—
通子鯛	—	—
アマダイ	—	—
中小タイ	五二	三四
ニベ	—	—
ブリ	—	—
カツオ	—	—
ヒラス	三七	三一
サワラ	六四	—
サバ	一九	一七
アヂ	一九	—
カレイ	—	—
ヒラメ	二二	七
ボラ	二六	—
コチ	—	—
コノシロ	—	—
キス	三六	二三
イワシ	二〇	—
アコウ	—	—
ムツ	—	—
サヨリ	六〇	二四
マナカツオ	六七	三〇
カナ頭	八	五
ホーボー	—	—
タイコ	一五	一〇
イイダコ	—	—
水イカ	四八	一四
イセエビ	—	—
車エビ	一、一〇	九七
エビ	一二	五
ナマコ	—	—
貝柱	三六	—
白魚	—	—
カマコ	—	—
ナマコ	四五	一五
アワビ	三〇	一三
カキ	三五	一〇
ハマグリ	—	—
シジミ	—	—
アサリ	—	—
カマボコ	六〇	四四
チクワ	—	—
マグロ切身	八〇	二〇
ニベ同	—	—
ブリ同	—	—
ヒラス同	—	—
サワラ	—	—
タヂラ	—	—

間島貿易の躍進（上）

＝その歴史と系統の變化＝

△間島貿易の歷史

最も初期に於る間島貿易は延吉（當時局子街）を中心に吉林經由營口、琿春經由浦鹽の二つに分れてゐた、其後明治四十年間島と日本との交渉が始まつてから北鮮との交通が頻繁となり、先づ砂糖、燐寸、石油等を輸入したが見るべき取引は行はれなかつた、然るに明治四十二年浦鹽の自由港閉鎖により琿春、浦鹽貿易が中止の狀態に陷りここに北鮮、間島貿易が漸く盛になり、明治四十二年末には吉林六〇％、浦鹽二〇％、北鮮二〇％の比率を示すに至つた、其後北鮮間島貿易は政治都市龍井の發展と共に殆ど此地の獨占として行はれるに至つた

當時に於る各經路の取引品目は北鮮貿易では主として粟、大豆、雜穀類を輸出し食鹽、鹽魚、金巾、石油、綿、燐寸、砂糖等を輸入した、對露取引は牛、煙草、高粱、燒酒、大豆、豚等を輸出し浦鹽更紗、綿布、布糸等を輸入した、對支取引では豆油、豆粕、荏油、豚獸皮、菌類、藥草を移出し鹽、雜貨、木棉類を移出して來た

其後朝鮮移住者の增加と歐洲大戰の結果による露歐からの輸入杜絕、會寧、清津間鐵道敷設完成等の諸條件は此の狀勢に一轉機を齎らし北鮮貿易は間島貿易の王者として君臨し、これまで北鮮の一部の需要を充たしてゐた間島の林產、農作物は遠く清津を經て日本、南洋方面に仕向けられ爲に間島農產、林產の開發を促し移住民の數を增加し生產增加は購買力の增加を來し更に圖們輕便鐵道及び間島の天圖鐵道が敷設されるに及んで愈々この勢は增大した、其後雄基の開港を見るに及んで日本との貿易は益々增大し以て今日に至つてゐる

△貿易系統の變化

現在の間島（延吉、和龍、汪清、琿春の四縣）の貿易系統は從來表滿洲とを結ぶ交通運輸機關の缺如せるところから同地方の一部に局限されその九割までは北鮮經由貿易の獨占舞臺たるの觀を呈し、陸路馬車運輸による吉林方面との貿易は僅かに土產品の移動に止まり其の量を極めて少く又一方ソヴイエート聯邦の國境封鎖によつて琿春地方を通じて行はれたる露領との交易は現在全く杜絕の狀態である

北鮮經由間島貿易は交通機關地理の關係上清津及び雄基の兩系統に區分され之を地方的に見る時は清津系統は主として龍井貿易に雄基系統は大部分琿春貿易によつて消化せられてゐる、然るに滿洲事變以來の鐵道の新設と之に隨伴する輸送經路の變化は間島貿易に劃期的の轉換を招來せんとしてゐる

昭和八年四月には京圖鐵道本線完成を告げ越えて九年四月には支線朝開線（朝陽川より龍井經由開山屯に至る天圖輕便鐵道の廣軌改革開通し一方江岸圖們驛を起點として北進寧安縣を縱斷し東京城寧古塔を經て北鐵東部線牡丹江に至り更に佳木斯に達する圖寧線も既に本營業を開始し加ふるに間島地方至る所に伸張せられつつある自動車網の出現は經濟動向に劃期的變遷を招來せしめんとしてゐる

即ち將來に於る間島の貿易系統は北鮮系、拉濱系及び圖佳線系の三者に區分せらるるに至るであらう、勿論背後地に對する間島の地位は主として通過貿易の役割が重視されるのだが交通機關の整備に伴れ奧地方面との密接なる聯繫を結び、北滿及び東滿の寶庫開拓による各種物資の集散地として經濟的重要性は更に加重するものである、而して右の如き貿易系統の變化が從來の北鮮經由間島貿易に對して如何なる變化を與ふるかは今直ちに豫斷し得ざるところであるが京圖線の終端港たる羅津の築港工事完成の曉にはその補助港雄基と共に南陽及び圖們を經由して奧地方面に對する貿易の最優勢的地位を占めるのは當然の趨勢であつて清津はこれに一步を讓るべく豫想されるが由來清津港は北鮮都市の中心地として尙相當の地步を占さるであらうと見られる

尙二年度に於ては滿洲國稅關の北鮮清津並に雄基兩港への進出が特記され其の結果貨物の通關經路の變化が注目されてゐたが當初の豫想を裏切つて稅關の北鮮進出にも拘らず圖們、龍井兩稅關の通關貨物は依然として好調を示し間島貿易の堅實性を物語つてゐる

現在北鮮並に間島に於る各稅關の通關割合は清津並に圖們を夫々一とし龍井がこの二分の一、琿春並に圖們が夫々四分の一程度であらうと專門筋で觀測してゐる

東滿

衛生的無智が 親善關係を阻害する

＝吉林警務廳の發案で 衛生取締規則考究

【吉林國通】近時日本人の著しき進出により當吉林市に於ても日滿人雜居急增し潔癖なる日本人にとつて滿人の衛生的無知は親善關係を阻害すること甚だしく諸衛生施設の新設が要望されてゐたが、吉林省警務廳衛生科に於ては筒頭博士指揮の下に之が取締規則案を考究中であるが右規則は此種最初のものであり之を最も合理的且つ效果的ならしむる樣織で日滿民の公衆衛生的可く當局者は種々骨を折つてゐるので本夏傳染病發生期前には新汚物掃除規則も完成すに享ける利益多大なる可く期待されてゐる

汪精縣下一帶の 共產匪蠢動す

＝日滿軍警嚴重警戒す＝

【龍井國通】汪精縣一帶に根據を有する共產匪は昨秋以來の繼續的討伐に大部隊の根據地は殆んど覆滅され、小部隊が部落附近を遊行しつゝ金品食糧の掠奪を行つてゐるが彼等は更に破壞された勢力を挽回すべく最近は地下運動に轉じ巧みに愚民を煽動してゐる形跡があるので、日滿警備機關では嚴重警戒中である

入庫貨物保險 出荷者の便益至大

【圖們國通】昨年十二月一日より沿線三十二の主要驛に於て營業を一齊に開始した總局經營の營業倉庫、入庫受寄貨物の火災保險掛金は十二月一日より實施した旨十二月廿八日附を以て總局佈告として公布されたが、入庫品に對する火災保險の契約は各荷主の正當な申込み價格を基礎とした石炭、銑鐵、鐵材、石材、鑛石又は價格を知る能はざるものを除いた貨物全部を含むので之によつて一般出荷者の受ける便益は至大なるを期待されてゐる、契約保險會社は大連火災海上保險である・

平田總局監察 吉鐵管內視察

【吉林國通】鐵路總局監察平田職一郎氏は監察附鈴木、竹森兩氏帶同、吉林鐵路局管內視察のため來る十四日午前十時十分着列車で來吉の豫定

日滿集團部落長會議 延吉で開催

【延吉國通】既報間島省公署では十日午前九時より延吉普通學校講堂に於て滿洲國側既設集團部落長五十三名他日本側既設同部落長廿七名を招集して集團部落長會議を開催した、科目は思想善導、產業一般、教育、衛生の諸項に亘り講演の外、蔡省長、鷹森〇隊長、植野特務機關支部長、松下總務廳長、金民政廳長、其他有志の訓示、講話あり、尙最終日たる十五日には座談會を開催するが將來の間島の政治行政の礎石といはれる集團部落最初の横の連絡をつけるものとして成果を期待される

吉鐵の事務訓練講習會

【吉林國通】吉鐵では去る十二月一日全滿一齊に改正された國線貨物運賃、料金實施に關する事務訓練のため講習會を左記により開催して之が運用の萬全を期する事となつた
一、一月十四日午前九時、吉鐵第四階會議室に於て大石頭站以西の各站代表參集
一、一月十六日午前九時、圖們監理所に於て哈爾巴嶺站以東の各站代表者集合、伊藤貨物科員外一名の說明

樺筒山出診所 十五日開所

【吉林國通】吉鐵に於て豫て改築中の樺筒山出診所は此程漸くその工事完了を見たので來る十五日午前十一時より同地方有力者並に局各段首腦參列開所式を擧行する筈

地方義倉制度細則に 辨法設け利益增大

吉林公署で意見書を起草中

【吉林國通】農村に於ける凶作對策の一として義倉制度が全滿的に實施されてゐるが右細則を夫々事情を異にする各地方に施行する結果從來幾多の不便を生じてゐるに鑑み吉林省公署に於ては各地方の實情に應じ右細則に辨法を設け以て省民の利益增大を圖るべく目下意見書の起草を急いでゐる、確聞するに意見書の內容は次の如きものである

一、倉庫所在地より遠隔の地方より納穀する場合二日乃至三日を費して運搬し來る時はその納穀價よりは運搬費により多くの費用を要する實情にあり、之を時價穀價に替へ地方甲長を經て納金せしめる

一、右の場合農民に對して一天地八升の納穀と規定してあるが納穀標準價の設置が必要となる

一、倉長、辨事員、倉夫等の雜費（車馬賃の如き）を實情に即して加減する

十年度間島 產穀類物價

【龍井國通】昭和十年の間島產穀價は昭和五年以來の高値であつたが東拓間島支店の龍井市場調查によれば、昭和十年中の間島產穀價は左の如く品目十種平均價は十四圓五錢で昭和五年より同九年迄の五個年平均六圓五十錢に比し二倍强の高値を示してゐる（單位日本一石當）

品目	昭和十年中平均	自五年至九年五ヶ年平均
大豆	一一、一二	五、五四
粟	二〇、六〇	八、九六
白米	二五、九五	一四、二四
白豆	一二、三二	五 八〇
小豆	一二、三七	五、六六
高粱	九、一五	四、三六
黍	二〇、八五	一〇、二二
大麥	六、六一	二、七一
小麥	一一、一三	六、二一
玉蜀黍	一〇、四二	三 六六

新任小島憲兵隊長着任挨拶

【大連支社發】新任大連憲兵隊長憲兵少佐小島正範氏は十日着任挨拶の爲來社、前分隊長渡邊少佐は奉天商埠地分隊長として赴任した

哈市附屬地外流通の 鮮銀券回收 進捗せず

【ハルビン國通】滿洲國幣制統一國幣一元化問題に就ては既に昨年その根本方針が確定され滿鮮兩銀行間の業務協定爲替管理法の實施、日本側各銀行貸出の國幣一元化等着々國幣の强力策が講ぜられ殊に滿鐵附屬地外に於て先づ鮮銀券を漸次回收することに方針が決定されたが當ハルビンの如き滿鐵附屬地外に於ても國幣の流通、鮮銀券の回收は未だ何等顯著なる動きを示さず舊態依然たるものがある、之は單に貸出に就て國幣が一元化に改められたのみで送金の支拂等の反面に於て依然鮮銀券が拂はれ之が市中に流通を見る爲である、從つて鮮銀券の流通範圍が積極的に擴大されるが如きことはないとしても現狀を以てしては滿鐵附屬地外と雖も國幣の一元化統一は容易に望み得ないものと觀られる

歲末同情週間・寄附者芳名（七）

▲三圓宛 明仲居一同、旭ホテル▲二圓二十錢ミス東洋女給一同▲二圓宛石黒直助、島田義正、篠田太、佐々木ふく、川崎かよ、船越喜代次、ミス東洋女給一同、吉川豐次▲一圓四十錢ミス東洋從事男員、▲一圓十錢旭ホテル女中▲一圓宛堀値一、分倉たみ、福岡幸、高橋なみ、杉谷まさ、田村花子、高橋又三郎、米田市子、楠畑渥子、加地吉平、垣田太治馬、木藤辰次郎、三浦欽次、堂脇醫院、長春無業、高野、堀田太治馬、旭ホテル女中、旭食堂女中、關原商店、古谷寅吉、武內、米田清助、船越商會店員一同、多田滿喜子、ミス東洋、六方、永島春江、中川三好、渡邊鋼一、永島滿壽男、清谷哲三、佐甲眞次、佐藤眞次、田中金作、山田見吾▲五十錢宛中谷、佐藤實、杏本、尾木榮三、久保內榮龜、川下シツ、船越ヤス、城正男、高田ウメ、高田香義、三國暉、三國榮暉、服部貞丈▲四十錢宛古賀久市▲三十錢宛石川登美雄、堀靜子、島野うた子外六方女中連▲二十錢宛木村まつ子、山崎しづ江、久保山田鶴子、田中豐久、奥野きみ子、永元榮、阿曾市郎、無名女、稻益、別染也、斧江四郎、瀧本列、吉正悅子、森竹子、白濱清八、同、島田香同▲十五錢宛中村ミチ、大浦みや子▲十錢宛富士本正子、鈴木ミヨ、石橋夏江、露木政子、永田政子、山中郎吾、尾野ミナ子、濱谷治子、辻富美子、林修、戸島豐、富永玉枝、原田花屋、佐藤香子、田邊敬策、清水孝子、高野、齋藤光子、許山靜代、明石美枝子、明石照男、寺田勇、金道錢、冲田豐、金玉鑛、本田榮二、本田三郎、本田睦友、冲田明二、冲田俊子、澁谷久子、澁谷和子、柴田クスキ、黒田貞夫、柴田久スキ、黒田タネ、無名氏、無名氏、無名氏、無名氏、無名氏、無名氏、無名氏、無名氏、無名氏、黒田梅治、婁得馨▲一錢林よし

▽……海上雲遠……△

家庭

如何なる理窟より 更に大きな母親の力!

歐米の物質文化の影響と云はふか、近時婦人の素質が往時の美風から離れて來たことは槪嘆に堪えない。

日本婦人の責務

往時の美風を忘れてはならぬ

かの世界的に有名なプルタークの英雄傳の中にスパルタの英雄レオンダスの妻ゴルゴーと或る外國婦人との間に交された會談の一節が出てゐる。或る時一人の外國婦人がゴルゴーに會つた時「世界に於て男子を支配することが出來るものは獨りスパルタの婦人だけであります」といふとゴルゴーは「それはその筈です、世界に於て男子を生みうるものは獨り我等スパルタ婦人のみですから」と云つたといふ事である。

話は之だけであるが、私はこの短かい會談の中にゴルゴーを通じて當時のスパルタ婦人の意氣に無上の敬意を拂ひ深甚の興味を感ずるのである

◇……◇

現今の我が國の婦人は此の問答を如何にみられるか、殊に「スパルタ婦人のみが男を支配しうる」「男子を生みうる」と云ふスパルタ婦人の自負心これは徒らに女權を振り廻す意味でも何んでもない、又男子の上に立つて威張ると云ふ意味でもない。即ち若い婦人と雖も毅然として物に恐れず一言一行が男子の心を勵ましてゐたことを現はしてゐるのである。換言すれば婦人自身の意氣が無言の中に男子の上に働き掛けることの出來る力をもつてゐると云ふ自負心に富んだスパルタ婦人の面目である。此の點を今日の婦人は大いに考へて日頃修練を積んで貰ひたいと思つてゐる。

今日の日本婦人は何れだけ男子を支配する力をもつてゐるであらうか、戰場に出て勇壯な働きをした人、平素男子として卑怯な眞似をした人、之等の人々と現代日本の婦人との間に何れだけ多くの交渉があるか、戰場に出ては如何に卑怯であつても、女性の前には威張り散らす樣な似而非勇士に對しても、黄金さへ見せれば忽ち釣られて終ひ口先が甘ければ中味は何うであつても、容易に惹き付けられて終ふ樣な事では、到底我が光輝ある國體を守護してゆく第二國民の母となる資格はないと謂はねばならぬ、現代の世相を見るに、唯だ目前の一時的享樂にのみ走つて美衣美食暇さへあれば酒色に耽り、自己の慾望滿足をのみ事として國家永遠の大事の爲めに考へる程のものが極めて乏しい樣に想はれるのである。私は今日の如き時世に於て、心ある婦人が多數出でスパルタの婦人達の意氣と面目とを見直しそこに學ぶ所があつても良いと思ふのである。

◇……◇

現今の我が學校教育を見るに、智識偏重に傾き、口と耳とが無暗に發達して、其の反對に手とか脚とかの發達を欠き、つまり實行力の乏しい人間が多く、從つて修練を積んだ婦人の如きは實に尠い樣な氣がするのである。

元來日本人の頭の中には三つの中心がある、勿論輕重大小の差はあるけれども、それは君國、親、殊に母、恩義ある長上此の三つの中心が有る爲に男女を問はず、何時でも從容として死に赴く覺悟を有してゐるのである。母性の力而も慈悲の籠めた母親の力こそは、何十年掛つて覺えた理窟よりも遙かに大きな底力をもつてゐるのである、若し之が外國人であるならば何うであらうか、彼等には元來日本人の如き判然とした愛國の中心がない、唯だ漠然とした祖國があるだけある、しかも其の祖先たるや個人を本位とする祖國であるから、國家のために自己を犧牲にする觀念に乏しい。即ち日本精神の如き偉いものを持ち合せてゐないのである、從つて眞に忠孝道もなく、日本人の如き愛國の熱情なども分らう筈はないのである、日本人を生む日本婦人の責務の重大性は玆に到りて判然とすることと信ずる。

今日の話題

△十二日にちなんだお話として我國に於ける紙幣の始めについて申上げます。「太平記」に現はれた紙幣の始めは元弘四年、即ち六百二年前であります。

△明治八年の一月十二日イタリーの銅版畫家キヨソネが我國に來朝しましたが、このキヨソネによつて明治初年の紙幣印刷は面目を一新したのであります。

△大正の初めの稀有の天災、鹿兒島縣櫻島の大爆發は大正三年のこの日でありました。

△ごく最近では陸軍少年航空兵の制度が發表されました。昭和八年の同じ日です。

△航空界の思ひ出としてはもう一つ、アメリカの女流飛行家アメリア・イアハートが唯一人ハワイとアメリカ本土間東太平洋横斷飛行に成功した日で、つい昨年の事でありました。

△明日を誕生日とする人にイギリスの大政治家エドマンド・バーク(西暦一七二九年)スイスの教育家ペスタロッチ(一七四六年)等があります

お料理獻立

名殘りの正月料理

昔は生活にゆとりがあつたので、正月の二十日を「骨正月」といひましたが、今日では、世の中の忙しくなつた、十日過ぎると、もう新春の氣分が薄らいでもとの多氣分に戻りますから、この日曜日あたりに、お臺所の整理をするのが適當でございませう、まづ「骨正月」に就て申上げませう、「骨正月」といふのは魚の骨や頭は勿論、野菜でも乾物でも獨立しては用途にならぬものを掻集めてお汁にするか、鍋物にするか、厨房の殘り物を處理して、材料を無駄にさせない戒めであつたと思はれます

【材料】(十人前)鹽鮭又は鹽ブリの頭一ケ、大根、人參、牛蒡、蒟蒻、油揚、葱等適量

たつぷりのお湯を入れた深鍋に鮭かブリのアラを入れダシの出た所に切つておいた野菜を入れ、鹽か醬油で味を添へ終りに葱を入れます

お鏡餅の利用

お鏡を開いたお餅は燒き立てに食鹽を加へ煮花の熱いのをかけると美味しく頂けます

ラヂオ けふの番組

(M・T・C・Y 新京放送局 十二日(日曜))

朝

六、三〇 建國體操(滿語)
六、五〇 ラヂオ體操(東京)
七、一〇 氣象通報(大連)
八、三〇 子供の時間(東京)
管絃樂＝解說付＝ 新交響樂團
組曲「コーカサスの風景」イッポリトフイヴァノフ作曲
指揮 ニコライ・シフエルブラット
九、〇〇 日曜勤行(京都)
京都眞宗本願寺派本山＝西本願寺本堂より中繼＝
法話 管長代理 大谷光明
九、四〇 講演(東京)
國旗と國體 松波仁一郎
一〇、一〇 子供の時間(哈爾濱)
童話「生死朋友」 羅悌
一〇、四〇 清唱 公餘倶樂部票友
賀后罵殿 靑衣 隱樵 老生 六鵬程 胡琴 閔紀亭 外二名
一〇、五九 時報(東京)
一一、三〇 ニュース(東京)

晝

一一、五〇 港風景(大連)
＝全日滿中繼＝「大連港第二埠頭より中繼」
〇、二〇 謠曲(東京)
草紙洗小町
シテ 喜多六平太
ワキ 高木壽男
王 須田哲次郎
貫之 福岡周齊
地謠 喜多實
同 粟谷益二郎
笛 三谷良馬
小鼓 森電朗
大鼓 安福春雄
一、二〇 俚謠 (一)仙臺 (二)富山
一、四〇 琵琶(長崎)
加藤淸正 池川旭齊
二、三〇 東京大相撲春場所實況(三日目)
＝東京兩國國技館より中繼＝(備考 左の放送時間には中斷す)
二、五〇 經濟市況(東京)

三、〇〇 ニュース(東京)
引續き ニュース
五、〇〇 子供の時間(臺灣)
臺灣だよりと唱歌

夜

六、〇〇 ニュース(東京)
六、二〇 今晩の番組 氣象通報 明日の番組
六、三〇 國民の時間
關於滿洲國警察官的現況 民政部大臣 呂榮寰
七、〇〇 自作朗讀(東京) 吉田澤右衛門
七、二五 獨唱(大阪) 小島政二郎
＝大阪桃谷演奏所より中繼＝
七、五〇 浪花節(福岡)
「滿洲事變九月十八日」 桃中軒如雲
八、三〇 時報・ニュース(東京)
八、四〇 ニュース・氣象通報 番組豫告(滿語)
九、〇〇 伽琴散調と並唱(朝鮮) 丁南希
九、二〇 舊劇 蘇三起解 協和國劇社票友
一〇、〇〇 北滿の時間(露語)(哈爾濱)

臺灣・富山よりの 俚謠 後一時廿分

(一)相馬三遍返し(仙台) 髙橋はつ外

相馬地方一帶の宴歌にして末句を繰返す事によりこの稱あり、天保年間の大凶作の相馬藩の困窮其の極に達し人口の增殖荒蕪地の開拓を圖るべく僧侶や武士を他國に派し相馬禮讚の唄を歌はしめて移民を招致し相當の效果を收めたと傳ふものの一部で今に遺つてゐるものである

◇……◇

「相馬〱と木かやもなびく靡く木かやに花が咲く
「相馬名物駒燒茶椀又も名物お野馬追ひ
「相馬戀しやお妙見樣よはなれまいとのつなぎ駒
「相馬中村石屋根ばかりかはらないので人がすく
「伊達と相馬の境の櫻、花は相馬に實は伊達に
「見にくいけれども相馬の柚子はみよりかはいいと人がいふ

(二)鹽竈甚句(仙台) 染子外

「二遍返しはまゝにもなるが三度返しはまゝならぬ
「二遍返して三べん目には義理と人情の板ばさみ

鹽竈港特有の宴歌にしてあいや節の轉化で島甚句の影響を受けたもの。ハツトセ節ともいふ。

◇……◇

「鹽竈街道に白菊植ゑて何をきくきくたよりきく
鹽竈出るとき大手振りよ癸社の宮から胸勘定
「さアさやつこらさと乘り出す船は命帆をかけ浪枕
「千賀の浦風身にしみ〲と語り合ふ夜の友千鳥
「末の松山末かけまくも神のはじめし海の幸
「おせやおせ〱二挺櫓でおせや押せば鹽竈近くなる

(三)小原節(富山) 越中八尾小原節保存會

「鯉の瀧登り何うふて登る。山を川にしよとオハラ言ふて登る
「あねま何處へ行く餅草摘みに、おらも行きたやオハラびくさげて
「城ケ山から白帆が見える二つ三つ四つオハラ有磯節
「來る春風氷が解けそ、嬉しや氣まゝにオハラ開く梅
「八尾坂道降り積む雪に、解けて流るゝオハラ小原節

モツアルト ワグナーの名作歌劇 有馬大五郎君が唄ふ

【後七・二五】 大阪桃谷演奏所より中繼

伴奏 大阪放送交響樂團 指揮 宮原禎次

一、歌劇「後宮よりの逃走」

第二幕第六場中のアリア モーツアルト作曲

戀仲のコンスタンツエとベルモントとは豫期しない時機に會合出來た嬉しさに二人は相擁して戀の悅びを歌ふ、コンスタンツエが、こゝで私はお前の胸に寄つて泣きたい、今は悅びにも淚のあることが私に判つた、と歌ふこれに答へてベルモントも再會の悅びを歌ふのである。その悅びの淚流す時

美しい戀が私達に力を授ける、可愛い頰に接吻する時淸い戀がその姿を現はす、あゝコンスタンツエー、情熱と憧れに充ちてお前を私の胸に抱く時、その尊さは如何なる財寶もこれに代へ難い、然しお前と別れねばならぬ時が來るとして、その苦しみは如何であらうそれはどんなに私を苦しめるであらう

二、歌劇「タンホイザー」より

ローマ大詠唱とヴイーナスへの追慕 ヴアグナー作曲

有馬大五郎君

ヴオルフラムの立琴に誘はれて窶れ果てた巡禮姿のタンホイザーが現はれる、彼はヴオルフラムに報いられなかつた彼の懺悔の巡禮行につき物語つて行く遂には敬虔なヴオルフラムの驚きの內に再び愛慾の女神ヴイーナスを呼んで彼女の懷に歸つて行かうとする。詠唱は懺悔のモチーフに始まる、どの懺悔者も持つて居ないやうな情熱を持つて私はローマへの道を只一筋に辿つた、エンゼルのやうなエリザベートが罪を誇る私からこの傲慢な心を奪ひ去つた、あの天使が私の爲に流した淚をもつと美しいものにする爲に私が嘗て否定したことのある神の敎へを良しく希つた、私の罪を贖ふことをひたすら神に希つた、あの美しい淚の爲に、それで他の巡禮者が重い心地で道をローマに辿る時、私は輕輕と旅をすることが出來た、彼等が柔い草の牧場を行く時にも求めて私は石や茨の上を步いた、泉に彼等が渴と疲勞を癒して居る時、私はこれに反して灼熱せる太陽を吸ふた、彼等が天に恭しく禮を捧げる時私は自分の生血を最高の犧牲として神に捧げた、彼等が避難所に疲を休めて居る時私は雪や氷を褥として眠つた、彼等が眼をつぶつて種々の奇蹟に會つて驚いて居る時早や私は愉快に伊太利の牧場を通り過ぎて居た何故私はそんなことをした!は私の肉體を極端に責め碎いてその穢罪を贖ひそうしてエンゼルの樣なエリザベートの淚をとり美しいものにしたかつたからである、さて私はローマへ着いた、私は聖殿の前に伏して祈つた、黎明と共に鐘は高らかに打ち鳴らされてゆく神を讚へる歌が聞へて來た、私は欣喜雀躍して法王を見たこの法王によつて總ての民が慈悲濟度の悅びを神より傳へられたのである私は法王に近づいて惱む人間のする身振り手眞似そのまゝに地に額いて訴へた、そうしてこの苦しみより救はれんことを哀願した、法王は嚴に答へた、贖罪の道は最早ない丁度私の持つこの杖に綠の芽が生えぬ樣にと、奈滅の內に私は氣を失つて倒れた、目が醒めた時私の身は眞夜中に荒地の上に横つて居た、遠くから慈悲を受けた人々が悅びの裡に讚美歌を歌つて居るその聖な歌が私に嘔吐を催さしめる慈悲を拜するあの鐘の音が私の心をあやめるその恐しさに私は荒荒しくその場を去つて行つたのであつた、おゝそうだ、私は再びヴイーナスの胸に歸らふ、おゝヴイーナスよ、お前の殿堂に私は歸つて行く、其處で私の魂は永久に笑ふのだ、私はお前を嘗てあんなにたやすく見出したのだ、早く私をお前のもとに導いてくれ、人類が私を呪ふて居るのがお前に聞へるだらう、愛の女神よ私を誘へ!

踊りと唄と美酒に 不夜城の豪華版

樂土の善政に隨喜しつゝ 正月迎へたロシア人

五族協和の滿洲國はお正月のお祝も多彩である、先づロシヤ人のお正月から紹介すると滿洲國內でロシヤ人が一番數多く住んで居るのは多分に國際色を織り込んで居るグレートハルビンであるが、其のロシヤ人がどう言ふ風にして

お正月を迎へる

かと言へば十二月卅一日の夜に忘年會と元旦を兼ねて送迎すると言つた樣な大騷ぎの祭り氣分にひたるのである、十二月も初旬を過ぎると善男善女の胸は躍る、寄ると觸ると新年を何處の劇場、何處の集會所、クラブ、キヤバレー、レストラントで迎へるかとお互に待ち遠しい風格で話題を交はすのである、劇場、クラブ、キヤバレー、レストラントは一年中の書入れ時として場內に舞臺に百パーセントの人工の美を施す事に寧日ないのである、調髮師、裁縫師等々も腕に撚をかけて慌しい師走の人の去來に商賣氣タツプリな視線を投げかける、その一擧手一投足は

何處も變らぬ

朗かな情景を描き出す、文藝の國民、音樂の國民と言はれるだけにロシヤ人の催しは賑やかなものである、それにニチエウオ主義「沒有法子」も手傳つて仲々徹底する、元來お祭りの國民とも言へる程ロシヤには祭日が多いだけに總ての催しに頭を使ふのである

十二月卅一日の晩十一時頃になると劇場、キヤバレー、レストラント、集會所、クラブは愈々夜の世界と化すのである、年少者を除いて老若男女は綾羅錦繡に六尺豐の體軀を包んで滿面に喜色を湛へ乍ら集まる

人生行路の貧富、憂喜の面影は藥にしたくとも見受けられない、十二時近くになると目が醒る樣な華奢な舞臺の幕が開く、場內は一樣に薄暗くなる、五色の電光は明滅するバンドの奏でるリズムに人は醉ふ、肉體美タツプリな男女俳優は飛ぶ、躍る、踊る、唄ふ、一年中の勞苦を忘れ、新らしい一年を迎へる昂奮そのものゝ幾場面が展開される、不夜城の豪華版である

時計の長短針が

ピッタリ二つに重なつて正十二時を打つと幾百と言はれる程數多い机の上に林立するシヤンペンは一切に機關銃の樣な音をたてゝ爆發する、泡ふきたてゝなみなみと注がれた琥珀色の液體の盃は擧げられて朗らかに新年を迎へるのである歌舞音曲は斷續的に絢爛豪華の花を咲かせる輝くシヤンデリヤの光を浴びてバンドの奏でるリズムに男女は輕く足を運ぶ、五色の酒は蠟細工の樣な女性の血管を走つて微醺を帶びさせる、時を忘れて打ち興ずるのである

午前三時、四時、五時頃になつて漸く疲れた身をシウーバに包んで零下三十餘度の酷寒を縫つて歸路を急ぐのである家庭的に友人知已が集ひ、盡きぬ四方山の話に花を咲かせて新年を迎へる者も多いが、劇場其の他に於る場面は和協五族が喜々として迎へる新年の斷面である、ロシヤ人は新年を賀し

健康と多幸を

祈る賀狀の交換はやるが廻禮は餘り行はない、財布の底を叩いてウオツカに足をとられ祭日に徹底するのもロシヤ人の一面である

王道樂土の善政に隨喜の淚を流して年々新なる歲を迎へる在滿ロシヤ人に比べて赤色ソ聯人の本國に於るお正月は?よろしく御想像に委せる

臺灣便り・唱歌

▽…後五時臺北よりの…△

子供の時間

遙か遠く南に千里、南方の生命線臺灣から內地のお友達の方々へお便りをし、そして臺灣の唱歌をお送りいたします

(一)臺灣だより 臺北市旭小學校五年生 佐藤陽一外

一月の內地はお寒い事でせう。臺灣では雪は遠への高い山の頂に一年に一度位ながめる位のものです。それでもお正月には門松をたて凧も上りますし、羽根もつきます。今晩は私達臺北市內の小學校の五年生四人から內地のまだ見ないお友達大勢の方にお便りをいたします。

(二)唱歌 河野鈴子 ピアノ伴奏 岩田泉

河野さんは內地の方にはお馴染の方です。一昨年の十二月九日に矢張り岩田先生の伴奏で童謠を放送されました。今は臺北市樺山小學校の六年生です。伴奏の岩田先生は臺北市第二高等女學校の先生で東京音樂學校で勉强された方です。放送される唱歌は臺灣總督府で公學校(本島人の行く小學校)のために制定した唱歌で、內地の文部省小學唱歌に相當するものです

(イ)胡蝶蘭

普通の蘭とは葉も大分違ひます臺灣特有の蘭で丁度蝶々の樣な綺麗な白い花がさきます

山また山のおく深く、枝うちかはし茂る樹の、葉かげをおのが宿りにと、ひとり花さく胡蝶蘭

露のめぐみにうるほひて、ねむる蝶々か飛ぶ蝶か、白い花びら愛らしく、しづかにゆれる美しさ

姿やさしく淸らかに、けがれにそまぬ花なれば、み山の春のかざしにと、さかせたものか胡蝶蘭

(ロ)赤嵌城

赤嵌城は臺灣の舊都臺南の市內にある古蹟で、紅毛城ともプロビデスジヤ城とも云ひます。昔和蘭人が臺灣を占領した時建てたもので後鄭成功が占領して承天府と稱しました。支那式のお城です。

1、雲まよふ南の海や、西空に沈む日赤く、つたしげる城壁暗し
2、山羊追ふ童もさりて、星一つまたゝきそめぬ、つゆしげし赤榕の木陰
3、夏草やつはものどもの、夢のあと蟲の音悲し、安平の古城のほとり

(ハ)せんだんの並木

せんだんの木は臺灣には澤山あります。紫の花がさき靑いドングリ位の實が鈴なりになります此の實はたべられません

1、のはづれのせんだん並木春はやさしい新芽がもえて花も見事なうす紫に、さけばたゞよふほのかなかをり
2、何時か花散り眞夏になれば、ふさふさゆれる靑葉の木蔭、蟬をとるのが竿もつ子等の、白い帽子に日ざしが動く
3、やがて秋風吹き來る時は梢あらはに葉に葉が散つて黄色小粒の實は鈴なりに、もずも來てなく一臘高く
4、誰が植ゑたかそだてたものか、季節〱に姿を變へて、平和な里におもむき添へる村のはづれのせんだん並木

浪花節

滿洲事變九月十八日

【後七・五〇福岡より】 桃中軒如雲

昭和六年九月十八日、闇夜も凄き柳條溝附近に於ける支那兵の鐵道爆破によつて、滿洲事變の火蓋はきられた、折しも此の頃其處へ進み來つた虎石臺駐屯の、獨立守備隊第三中隊の河本中尉以下六七名は附近の高粱畑から敵軍の一齊射擊を受けた、四五百名の敵を相手に決死の奮戰

◇……◇

一人の傳令が直に本隊へ報告した、此の知らせを受けた虎石臺第三中隊の川島大尉が七十三名の兵卒を引きつれ北大營の東側まで進み來た時に、又も敵の一齊射擊相手は學良の信任あつき王以哲の精銳一萬餘、しかし今こそ一意報國の意氣に燃ゆるわが精銳、忽ちこの大軍を蹴散らして、北大營の一角を乘取つたそこで持久の準備をなし、奉天の大隊本部に電話をかけた

◇……◇

大隊長島本中佐は、第一第四の兩中隊を引率して、はやてのかけつけ、今こそ北大營の城砦を、血潮に染めるといふ一席

東京女大數學 專攻科豫科 入試問題

東京女子大學數學專攻科豫科入學試驗は八日新京高女學校で施行されたが、そのうち算術、幾何、及び國語の問題は次のやうなものがあつた

△國語(解釋作文) 壹時間半

一、それ人の友とある者は富めるをたふとみねむごろなるを先とす必ずしも情あるとすなほなとをば愛せず唯絲竹花月を友とせむにはしかじ。

二、まだ多ながらまだきに春立ちぬればにや寒さもゆるびもてゆくやうに何となく春のけしきもあるやうに覺ゆかしわらはべなど何心なく今いくたび寢てなど指を折りて春を待つもいとをかし。

△作文 一時間半 文題 わが家庭

△幾何 代數共に二時間半

半徑一米なる圓に內接する正三角形と正方形との兩積の差を平方糎の位まで正しく計算せよ

二、梯形ABCDに於て二角A、Bの二等分線の交點をEとすればEFは兩底AD BCに平行なることを證明せよ

三、Hを鋭角三角形ABCの垂心とし直線AH・BH・CHが其外接圓周と交る點を夫々A・B・Cとすれば Hは三角形A・B・C・の內心なることを證明せよ

新年文藝貳等入選作

渡滿せる人々（下）

下島甚二

米川の席は、Mと云ふ三十を大分過ぎた男と、Oと云ふ小學校の教師をしてゐたと云ふ經歷を持つ滿人とに依つて圍まれてゐた。

Oは決して滿服を著ず、どんなに不味くとも日本の辯當を食つた。そしてバスの滿人車掌に對してもあまり上手でもない日本語で切符を切らせた。米川は始めの裡、彼の親日振りに就いて些か感嘆してゐたのだが、次第にさうした姿の中に、遲れたものが先頭を切つて進むものに對して抱く焦燥が感取されて來て、我々の祖先が明治の初年になめた經驗も斯んなものぢやなかつたかと考へてみたりするのだつた。

けれど暫くする裡に彼の日本人を眞似る態度も、實は單なる事大思想から出てゐるに過ぎないことが判つて來て、彼を滿人間の時代の先人を以て視てゐた自分が苦笑されるのであつた。

Mは煙草の銀紙を蒐集してゐた。以前は唯だ自分の吸空の銀紙だけを大切に貯めてゐたのだが此の頃では同僚の誰彼を廻つて貰ひに歩き、大きな團子にして家に持つて歸つて屑屋に見せるのである。口の惡い同僚が

『銀も漸々値が落ちて來たけれど、どうですMさん、銀紙の方も之からは儲も惡くなりませうな？』

とひやかしたけれども、机の上に背中を丸くした儘何やら口の内でぶつぶつ云つた丈で、團子の嵩は依然として增えて行くのであつた。

銀紙の外に一時彼は瓢簞を蒐めてゐたが之はもう止めた城内の大道で、汚れた中から形の良いのを選んで來てはせつせと磨いた、五六年もかけて米の磨ぎ水に漬けたり、指で刮つたりしてゐる裡には、十錢にもつかぬ錢で買つて來た瓢簞が驚く程高價に賣れるのださうだが

『どうも少しまどろしくてね』

と、或る日米川を摑まへて利殖の道を講義してゐる時話した事がある。

瓢簞よりも何よりも、一番彼が熱を出してゐるのは書だつた。書と云つても別に流儀等には構はず、名士と名の付いてゐる人の書いたものでありさへすれば、字の恰好なんぞは如何でもよかつたのである。滿人の大官連の書は機會ある毎にOを介して手に入れようとしてゐるのだが、Oは賴まれると忠實にさう云ふ大人達に燗る／＼近づいて行つては、二三日後にあまり首尾の好くない返事を齎らすのであつた。Mの方ではOさんに些と鼻藥が利かなかつたかな滿人は勘定高いから抔と考へてみてから、六法全集詳解などと云ふ學校時代の古茶けた參考書を持つて來ては机越しに恭々しく進呈するのであつた。

『鄭孝胥だつて下から奉り上げて少し何とかお世辭でも云へば書いて呉れるよ。ねえOさん、紙は僕の方で出すから一つ出掛けて行つて、かう云ふ日本人の熱心な崇拜家がゐるからとか何とか云つて書いて貰つて來て呉れんかな一つ頼む。』

役所内の小大官連では値の出るのも容易なことではないから目標を一段上に掲げたなと、傍で文書の整理をし乍ら聞いてゐる米川は腹の中で想像してみるのであつた。

さう簡單に云はれては流石のOも眼を丸くして、

『相手は鄭さんですよ、行つたつて第一、會はすかどうか分りやしませんです。』

『だけど行つて見る丈だつていいぢやないか。行つて見た上でなければ會へないかどうかも分りやしないんだぜ。駄目ならそれ迄だけれど、書いて貰へるものを遠慮してるにも及ばんさ。君も書いて貰ひ給へ。まあ十年先の日を考へて御覧。大したものになるから』

或る朝、米川が少し早目に登廳したことがあつた。Mは何時も定刻の十五分前迄には來てゐて、應接室で役所の新聞を讀んでゐるのだが、その朝は、彼がドアを開けた時、Mが背をこちらに向けて卓上電話の上に前屈みになつてゐる姿が眼に入つた。

『……惜しい事をしましたなア。先達ての方の皮屋に話をつけて置く可きでしたねえ。……えゝ一寸五十ばかりの損ですよ。……えゝ……それから……いや何もう一つの狐の方ででも……ええ。ぢやよろしく賴みます―。』

米川の挨拶の聲で振返へつたMの顏に瞬間狼狽した樣な苦笑が浮び上つたが、さう云ふ場合によくやる例の口の中でごちやごちやと分らぬ事を呟いて席を立つて行つた。書類骨董から終に毛皮の領域に迄手を伸ばしたかと、米川は外套を脱ぐのも忘れて立つてゐたのであつた。

暫くしてからOも出勤して來た。

『又バスが來ないんでネ。馬車に乘り換へて來たんだけれどどうも遲くていかんです。』

といつものえへへ笑を振り散らし、長い顎を斜にして皆に挨拶してから、向ひのMにかう云ふのであつた。

『あのいつぞやの、Xさんに話して賴んで貰つたんですが、大臣は當分誰にも絶對に書かないんださうです。此の頃大臣の書いたのが店に出てゐるものだからとても怒つてるのだださうですよ。』

米川が首を上げてMの方を眺めると、Mはいつもの口の中で低く呟く癖も忘れて、紅潮した顏を窓の方へ向けしきりに氣を靜めてゐる樣子で、Oが先日立替へた一圓を返してくれと云ふ聲も耳に入らぬ風情であつた。

役所には女事務員が十人近くゐた。毎朝けばけばしい原色の洋服に身を包んで、尻を振り振り登廳して來た。

彼女等は大概、原口達と同年配で、中にはもつと年の行つたのもゐて、晝の休みなどには應接間へ出張り、妻君持の屬官達と大膽な口をたゝいては大きな聲で笑ひ合つた。

原口達が傍を通つても、輕蔑した樣な視線で見送るのが彼等には癪だつたな。彼等はさう云ふ空氣に觸れた時『あんな奴等に俺達が、手のつけられぬ酒呑みの亂暴者とでも何とでも誤解されたところで――』と思ひ返してみるのだつたが、心の何處かは矢張り充たされないものを感じるのだつた。

十二月に入ると間もなく役所の獨身者だけが集つて忘年會が催された。米川達も、日の暮頃から馬車を馳つて、ぎしぎしと軋む雪の上を會場へ向つた。

二十人を超す青年達が狹い部屋に溢れて、鍋をつゝき酒を飲んだ。

誰も彼もが動けなくなる程飲んでゐた。

米川も自分で驚く程杯を口へ運んだ。幾つ差されても、一息に乾して返した。岡は膝を跨いで彼の傍へ坐り、

『今夜の飲みつぷり、俺、ほれたよ。キスさせてくれ』

と彼の上體をつかまへた。

するといきなり米川の感情の中に、自分でも知らない裡に、壓へに壓へてゐた憤懣が燃え上つて來て前に在る岡の顏が俄に腹が立ち、猪口の中のものを突然相手の頭の上に引つかけた。

『おや、こいつも原口の樣なことをしやがる。』

然し岡は德利を手にした儘何もしないで彼方へ立つて行つて終つた。

譯の分らぬ怒號があちこちで叫ばれ、それもやがて耳に遠くなり、手足を動かす誰彼の姿が、立つたり坐つたりしてゐる女共の影と縺れ合つて影繪の樣に網膜に映ずるだけで、俺は先刻一體何の爲に腹を立てたのかしらと一心に考へてゐる彼から、感覺は何時の間にか消えて行つた。

翌朝彼が眼を開けてみると何時の間に歸つたのか岡が外套にくるまつた儘鼻先に轉つてをり、鼻の下と投げ出した右の掌には血が凝固つてこびり付いてゐるのが見えた。更に原口の方へも寄つて布團に手を掛けて覗くと、眼の下側が瘤の樣にふくれ上つて靑色を呈し、唇の端にも血が凝固つてゐた。

おいと聲を掛けてみたが、二人共鉛の樣に重く橫たはつて、米川には手の付け樣もないのであつた。

米川は、紙屑と煙草の灰と汗の臭ひでむせ返る部屋の眞中に、割れる樣に音を立てゝゐる頭を兩手で抱へて坐つてゐた、

渦を卷いてゐる彼の頭にも無茶苦茶に酒をあふつた昨夜の方向を知らぬ焦燥の原因が死んだ樣に濕つた役所の空氣と、沙漠の樣な此の獨身寮の生活から生れて來た事ははつきり感ぜられ、自分もいつそ二人の樣に爭闘に加はつてゐたらよかつた、自分の體から迸り出る血の色を眺めたら此の苦しさも忘れられやうと考へるのだつたが、背後から自分を押し止めてゐるものに氣づくと、俺は矢張り弱いんだ、滿洲に生きる人間ぢやなかつたんだと思ふのであつた

滿洲國を續る

映畫問題の回顧と展望（一）

龜谷利一

國產映畫起源

滿洲國は大同元年九月十五日友邦日本の率先承認に依り東亞に於る一獨立國として輝かしい國際場裡への第一歩を踏み出したのであつたがこの輝かしいと言ふ言葉は滿洲國としての主觀であつて當時の客觀的情勢から見れば實に大なる冒險であり、勇敢此上もない荒海への船出であつたと云へやう唯一つ滿洲國にとつて心強い賴り草は友邦日本が自國の興亡を賭して此の聖業を扶翼協助してくれたことであつた

實に國際聯盟を脱退した日本の雄々しい決意こそは滿洲國の國礎を萬代不易のものたらしめたのである。越えて大同二年の三月滿洲國は當時の國內外の諸情勢に鑑み大々的に建國周年記念慶祝大會が擧行することとなり丁交通部總長（現實業部大臣）を幹事長とする中央委員會が組織された、餘事は省くが此の建國周年記念中央委員會が計畫實施した各種記念事業の中に映畫製作の一項がある、當時此事項を主管して居た川崎外交部宣化司長並に關係者としての私共の考へでは東北義勇軍の跳梁跋扈に伴ふ國內治安の確立、治安平定後の宣撫工作に對する映畫利用の必要もさることゝ乍らそれ以上是か非でも滿洲國の實狀を映畫にして押出さねばならないのは當時の國際情勢であつた、一部では日本が國際聯盟を脱退して一意專心滿洲國の發展生長を援助してくれる以上歐米諸國の思惑なぞ考へる必要はないじやないかとの議論もあつたが滿洲國の永い將來のことを考へると最少限滿洲國の實狀はこうだといふ程度の認識を此場合世界各國の有識者に持たせて置く事は必要だと考へられたのである。滿洲國が何處にあるやら、どんな經緯で新國家を建設することになつたのやらその實際の狀況がどうであるやらを知らないでワイワイ騷がれたり、非難、反對されのではやりきれない。相手が直ちに理解し了得するか否かは問ふところにあらず

滿洲國の僞らざる現狀を率直に世界にぶちまけると云ふのが映畫「新興滿洲國の全貌」の製作を計畫した主なる原因である勿論吾々は共產黨張りの宣傳をする必要もなく國民黨的な華美なやり方をする必要もない。飽くまで事實と實情を率直に知らしめねば良いと言ふのが當時政府當局者達の同映畫製作に對して與へられた要望であつた樣で愈々これを實行に移すこととなつたが建國尙一年に滿たず目前の劇務に沒頭して居た滿洲國部內には此映畫製作について智慧を貸したり材料を提供してくれさうな向は絶無であつたそこで種々考へた揚句滿鐵に依賴し主として滿鐵所有のフイルムを蒐羅點綴して編輯することゝなつた

讀書戲語（下）

山下明

考へて見るとどうやら私も「情なくも讀書」してゐる一人であるやうだ。私は歩いてゐる時には思索するが、机の前に坐つてゐる時には大てい何か讀んでゐる書籍、雜誌、新聞、書報、パンフレット――讀み疲れると煙草を喫ひ、紅茶を沸かして飲み、蜜柑をたべる……。現在の私には讀書は既に「惰勢」となつてゐるのかも知れない？當にニーチエの『惡德』である。だが、（笑はないで下さい）ニーチエは偉大なる天才であり、私は漂々たる一人の凡人ですからね！

續いて安倍能成氏はフランシス・ベーコンの讀書論を引用してゐる。（こゝで學問とは讀書といふ意味に限定していゝ）即ち「學問にあまり多くの時間を費すのは懶惰である。それをあまり多く飾に用ひるのは氣取りである。何から何まで學問の法則で判斷するのは學者の癖である。學問は天才を完成し、更に經驗によつて完成される。即ち天性の能力は天然のまゝの植物のやうで學問に依る刈込みを要求するそうして學者は經驗に依つて局限せられるに非ざれば、それだけではあまりに茫漠とした方針を與へるに過ぎない。すばしこい人間は學問を輕蔑し、單純な人間はそれを崇拜する。たゞ賢い人間はそれを利用する。即ち學問そのものは自らの使用法を敎へない。それは學問以外の學問を超越した、觀察によつて得られる智慧である――」と。成程うまいことを言つてゐる。私は冒頭に於いて私の初歩的な幼稚な讀書感を述べたが、それは私がこの三百年前の英國生れの哲學者の言葉を知らなかつたが爲である。私はまだ／＼大いに讀書しても『惡德』にはならないだらう。（十二、二十三夜）

寒さに向ふ慢性胃腸病者の心得

消極的な防寒法よりも 胃腸自身の力を強くせよ

下痢が主な容態である慢性胃腸カタルや、消化機能の低下してゐる胃アトニー、胃擴張などの慢性疾患にかゝつてゐる方は、夏の暑い時分も病氣がわるくなり勝ちですが、冬の寒い時節もまた病氣によいと申されません。その第一の原因は冷えることで、慢性

胃腸病者は人一倍冷える

といつて宜しいでせう。

その譯は長く胃腸の病氣をしてゐますと、榮養の低下することは避けられませんので、身體は瘦せて寒さを防ぐ脂肪組織が少くなり貧血を起してきてゐるからです。さうして胃腸が丈夫なれば、暖かい飲食物や脂肪にとんだ食物を澤山攝つて、寒さに對抗するといふことも出來ますが、かういふ病氣の方は食物を多量にとると、下痢をしたり、痛みを起したりし勝ちですのでそれも出來ません。自然厚着や懷爐で身體を暖かくして、運動もなるべくしないやうにするので、ます／＼胃腸の機能も衰へ寒さに對する抵抗力も弱くなり、風邪もひくし、それだけ用心してゐてもなほ

胃腸の病氣を一層惡くする

といふ事になります。

そこでさういふ慢性胃腸病のある方は、寒さに向つては如何すればよいかと云ひますと、身體の保溫といふことは、申さずとも各自に充分お分りになつてゐるでせうから、省きまして、病氣そのものに對する手當を述べてみますと、療法の主眼をどうしても胃腸自身の力を恢復する、徐々にでも自力で機能の衰弱を取返すといふ點におかなくてはなりません。

この意味から云ひますと、慢性胃腸病をたゞ對症藥の力ばかり賴つて癒さうとするのは如何しても不充分です。消化が衰へてゐるから消化藥をのんで、不足してゐる消化の力を補ふ、下痢がとまらないから收斂劑をのんで、腸內の水分分泌を抑制する、或は阿片劑で過敏な腸の運動を麻痺させるといふ遣り方は、謂はゞ

應急手當て、根本的な療法

には遠いものであります。それよりも胃腸自身の力で、消化機能も恢復するし、腸の運動も正しくなつて、普通の便通があるやうになる事が出來るならば、よしそれが徐々であらうとも、自力的の恢復であるだけに、本當に獲得された恢復であるわけであります。

ところが今までさういふ意味から、胃腸自身の力を恢復させるといふ藥物はなかつたのでありますが、最近全國的に擴まつて病院といはず、家庭といはず用ひられてゐます若素（わかもと）といふ藥はこの「胃腸自身の力を恢復させる」といふ目的によく適つた藥であります。

この藥はヘーフエ菌といふ一種の藥用微生物の全成分をそのまゝ藥劑化したもので、その成分と作用は澤山ありますが、中心をなすもつとも

重要なものは細胞原形質賦

活作用といふ、身體を組織してゐる細胞に活力を與へて、その機能を活潑にする作用で、これがあるために、慢性胃腸カタルや、胃アトニー、胃擴張、胃酸過多症のやうな慢性疾患で、胃腸自身の力が弱つてゐるやうなのに對して、在來の對症藥ではみられないやうな效果――即ち、自然に消化もよくなれば、食慾も進み、便通も下痢や便秘が正常の便に矯正されるといふ樣になるのであります。

醫學常識

女學生と結核

結核菌は多かれ少かれ、われ／＼の身體內には潜伏してゐるものですが、抵抗力が衰へて來ると、菌は待つてましたとばかり、猛威を奮つて來ます。

殊に、初潮その他、生理的變化の烈しい女學生時代は、この抵抗力が衰へるので結核に乘ぜられやすく、最近の調査によれば、全國女學生の二割強は微熱者――即ち結核の初期症狀を呈してゐるとの事です。

ですから、常に榮養を昂めて抵抗力を增强する樣圖らなくてはなりませんが若素（わかもと）は胃腸を强め榮養を充實するばかりでなく、結核菌の勢力を挫く數々の有效成分も含んで居りますから日常保健のためにも、是非服用をお奬めしたいものであります。

婦人に多い 常習便秘の手當

美と若さを奪ふ腸自家中毒

婦人は男子に比較して、一般に便秘癖の者が多いと云はれます。これは、家庭に於ける運動不足や、食事その他不規則な日常生活が原因して、胃腸に障碍を起すことがその大半の因をなして居りますが、この常習便秘が、いかに婦人の美容と、潑剌たる若さ――即ち老を知らぬ健康色を保つ上に惡影響を及ぼすかと云ふ事には、氣のつかぬ人が多い樣です。

一體皮膚の滑らかさとか、美しい色澤は、心臓から皮下組織に通じてゐる複雜な血流により、表皮に充分な榮養が供給されて生ずるのでありますが、便秘するとこの血液中に毒素が混入して皮下組織を障碍するからです。

といふのは、私共が日常攝取する食物の中には、多數の細菌が混入してゐて、これが大腸內でたえず繁殖してゐますが、便秘するとその繁殖がます／＼激しくなつて、腸內の糞便を腐敗醗酵させて、有害な毒素を發生します。この毒素が腸壁から血液中に流れ込み、全身をめぐつて各所に障碍を起すのを腸の自家中毒と云つて、老衰の最大原因とまで言はれて居りますが、これが直接腦細胞を冒すと、逆上や頭痛を惑し、また皮下組織――即ち皮膚に現れるとニキビや蕁麻疹などの吹出物が出るとか、皮膚の艶があせ、小皺が寄つて、年にも似ぬ老人くさい容貌となるのです。また、冬の寒さに弱い小膚――つまりひびやあかぎれも、內的には、これが原因して起ることが多いのです。

ですから、婦人が若い、美しさを保つためには、常に規則正しい食事、運動、丈夫な胃腸によつて便通を正常にして有害菌を腸內に停滯させぬ樣にしなくてはなりません。しかし、便通が無いからといつて無闇に下劑などを用ひますと、習慣になれば效がなくなり、また副作用を伴ふおそれもありますから注意を要しますが、最近、さういふ目的には、極めて適當した藥劑が出來てをります。

それは有名な若素（わかもと）であつて、この藥の主菌である活性ヘーフエが便秘を防ぐことによつて皮膚を美しくし、早老を防ぐ效果のあるといふことは、歐米の權威ある醫學者達の唱へる處であり、この療法を「黴菌飲下化粧法」と云つて、現在、若い女性の間に旺に試みられて居ることであります。この若素（わかもと）は、多種の活性酵素と、脂肪、蛋白、グリコーゲン、各種ビタミン等の綜合劑でありまして、活性酵素は、體內細胞に賦活し、新陳代謝を促す作用が顯著ですから、自然と腸粘膜を强壯にし蠕動を整調して、規則正しい便通をもたらします。

のみならず、この藥はたゞ便秘の點から美容上にも效果を及ぼすといふばかりでなく、胃腸の働きや、新陳代謝を活潑にし、榮養を昂める作用も著るしくありますから、その方からも生々した健康色を惠まれる譯になります。

この若素（わかもと）は三百錠入、千錠入の二種が一日四五錢にも當らぬ服價でありますが、近來その聲價を利用して效果疑はしき類似品（酵母、ビール酵母劑といふも類似品です）をお薦めする藥店もありますから御注意下さい。

手輕な療法で便秘を恢復

（大阪）片岡あさ子

私事、五年前脊髓病に罹りました。長らく病院のお世話になりまして（中略）大分良くなつて來たと喜んで居りましたのに、又此節はひどい便秘と、肩のこりとでほと／＼困りぬいて居りました。

十日でも二十日でも下劑か灌腸するかでなければ便通はありませず、頭は痛だし、食慾はなし、ほと／＼我身に愛想がつきて居りました。たまたま弟が、「錠劑わかもと」が良いからと一瓶持つて來てくれましたので、早速と服む中に、さしもの頑固な便秘も息苦しい肩のこりも、今ではすつかり治り、腦の具合も大變良くなり、何を食べても美味しく（中略）日に樂しい日を送つて居ります。

私達の樣に、全快まで醫師の手當を受ける事の出來ない者に、安くて手數のかゝらない「錠劑わかもと」に深く感謝いたして居ります（後略）

キング 二月號出づ

大發展御禮!! 新年號は 五回 大増刷!! ●感謝! ●大感激!! 全部賣切れの大盛況!! 厚く御禮申上げます。 二月號又大評判 お求めはお早く

新連載 現代小說 光の使徒 久米正雄

久米正雄先生の傑作いよく發表!!

何といふ面白さ 胸は躍り頰は熱す

突如彼等を襲つた大椿事を契機として想像もつかぬ場面が次々に展開! 第一回既に大波瀾! 素晴しく面白い!

人氣男・評判女・對抗座談會

（男子側）小說家 吉川英治 レコード歌手 東海林太郎 畫家 岩田專太郎 アナウンサー 松内則三
（女子側）小說家 吉屋信子 レコード歌手 後藤市丸 評論家 村岡花子 女優 栗島すみ子

兩々火花を散らす大論戰!! 果然各方面で大評判! 問題の特別讀物!!

◆男の好きな女…◆女の好きな男…◆女が男を選び損ふ場合◆男が女に騙される場合…◆妻に對する感謝◆女は却つて度胸がいゝ◆男の幸福、女の幸福◆夫婦喧嘩打明け話◆夫に鄧を失ふ◆動物は男が着飾り人間は女が着飾る◆其の他、攻擊あり感激あり面白い事無類!

特輯 これはビックリ 話の種

▲周ロ一間一萬圓の家▲人工で血液が出來る▲三百億圓の貴金銀▲八十三尺の鐵燈籠▲地圖は針先で鋼板を刻つたもの▲日本一の不思議なガラス…▲二萬五千圓の松▲太平洋の眞中に大文明があつた▲世界一の長い名前▲日本一の長い名前…

▲滑稽小說 坊ちやん重役 中野実
纏の取締役になつた山太郎君が愈々令嬢相手に乘るか反るかの腕試し!

▲探偵小說 遺骨盜難事件 岡田東魚
犯人は果して誰か? 滿天下を熱狂させた賞金一千圓提供の大懸賞小說

▲俠客講談 三千兩噂の聞書 西尾魯山

▲探偵小說 自分を葬つた話 甲賀三郎

求職就職の急所公開

●全國有力二十三會社の重役が特別發表!!

●どの方面に人を求めてゐるか、その職業と待遇…●小學卒業者の行くべき道…●中等學校卒業者の行くべき道…●専門學校以上卒業者の行くべき道…●職業婦人の實際…●中年求職者の爲めに…●就職者の實例…●海外發展(滿洲、南洋、ブラジル其の他)…●履歴書に就ての注意…●採用試驗合格の急所…●感心な求職者…●三井三菱其他大會社の銓衡法…●有望な外交員の話等々大評判の特輯!

俠客講談 信夫の常吉 神田越山

見よ! 危機を逃れた快漢清太郎が可憐な美女と涙の別れ! 戀の苦しさ仁義の辛さ! 手に汗握る大快讀!

▲維新の功臣 田中光顯翁縱横談
維新の志士の秘話や健康長壽法、時局談等々波瀾に富む面白い回顧談!

▲綿と茶碗が鳴る話 宗教家 黑住宗和

▲師の恩に泣く 感激實話 日本畫家 矢澤弦月

▲逸話の曾我祐準翁 藤田清

▲漫談 お經のレコード 牧野周一

▲時事問題早分り 上手と下手の岐れ道 太田正孝 加藤咄堂

▲新作落語 婚禮の夢 柳亭左樂

▲花嫁異變 男の意地 泣き蟲仁義 澁田進

▲純情が結ぶ戀の花 灯を護る人々 谷崎精二

▲名譽と戀を摑んだ 大膽病もの 下村悦夫

評判の時代小說 子育て文七 川口松太郎

涙を絞る美女の身の上!! 舞臺は急轉愈々面白い!

花なら櫻、此の度胸ッ骨、此の男ッ振り! 悲運に泣くお登女父娘の弱身につけ込む憎むべき甚五郎と謎の武士三人… 義俠一徹の文七の乘込みてどんな事件が捲起るか? 面白い!!

敵討篝火河原 三上於菟吉

二人の女が復讐に招く受難の嵐! 角之進と作太郎の好餌に危機刻々刻迫る! 見よ驚と恐との戰の幕は今將に切つて落されんとしてゐる

▲純情小說 双鏡 吉屋信子
運命の十字路に立つ聖人禮! 戀の復讐に成らず又も訪れた大悲劇

▲時代小說 木ッ葉侍 湊邦三
日頃の濶活と渾名された豪病武士が意外! 群がる敵と大血闘!

▲現代小說 街の姫君 菊池寛
（色慾の罠に陷ちた美芙子!）

▲時代小說 意地ッ張地藏 子母澤寛
（菊太郎とお美代に大危難!）

▲美女哀史 東海の佳人 白井喬二
（美人薄命、以勢子の苦心）

▲麗人悲劇 女よなぜ泣くか 中村武羅夫
（縺れに縺れる戀の糸卷!）

▲傳奇小說 鎖の環 延原謙
（子を思ふ親心! 之を讀んで泣かぬ人があらうか?）

人氣力士 出世ロマンス 結婚ロマンス
昵懇者が初めて語る秘話特種!!
◆玉錦 ◆武藏山 ◆男女ノ川 ◆綾昇 ◆清水川 ◆高登 ◆笠置山 ◆幡瀨川 ◆双葉山 ◆出羽湊 ◆瓊ノ浦 ◆桂川 ◆防長山 ◆巴潟

▲結婚いろく打明け話 八名士が結婚を語る現在の夫人を選ばれた理由 海軍大將 小林躋造

▲山本權兵衞伯の英風

▲山室軍平氏 人生道中 漫畫問答 和田邦坊

人氣沸騰 戀と運命 大悲劇!!

呼子鳥 加藤武雄

恐ろしい惡魔の企とは露知らず純情な志保子は家出した前途は凶か吉か? 哀れ處女の操! 志保子と省三、幸子、滿吉、周造等を乘せて戀の小車はどう廻る?

五十錢 東京小石川 振替 大日本雄辯會講談社

明治（赤罐）コナミルク

母乳代用に最適・用ひ方簡便・値段も低廉

明治（赤罐）コナミルク一罐お買上毎に明治の菓子（五錢）一個洩れなく差上げます
・區域・全滿洲
・期間・昭和十一年三月末日まで

東京・明治製菓株式會社・京城

廣告御用命は電話（3）三三〇〇番へ

豐樂劇場

十一日封切

夕暮れの歌
英國ゴーモン社超特作
ヴイクター・サウイル監督
イブリン・レイ主演

都會の怪異 七時三分
PCLトーキー作品
牧逸馬氏の絶筆
木村荘十二 監督
中野英治 千葉早智子 主演

入場料 階下八〇 階上一、〇〇
開演午後一時入替なし
終演お歸りのバス無料サービス
電話（事務所）二一一四四五番

産科 婦人科 堀山醫院

新京蓬萊町一丁目（警察署西一丁）
電話3三一八〇番
入院隨意
日曜祭日午後休診
産婆 天野オサヱ 中越フサノ

與太者を一掃して 國都歡樂境淨化へ
最近又もやダニ共の跳梁に 日滿機關彈壓せん

一時 市内のダンスホール、カフエー等を根城に惡の華を咲かせてゐた不良徒輩も當局の彈壓により其の影を消してゐたが、年末年始のため取締當局の手のゆるめるに乘じ又々各地から無頼漢の一味がひそかに新京に潜入せるもの丶如く正月早々ダイヤ街ダンスホール扇芳會館、市内富士町キャピタルダンスホール等にて拳銃或は匕首を懐中にのんでゐる一味と遊客の間にあはや血を見んとするトラブルを起した事件あり

舊臘 新市街にデビューした某歡樂境には兇器を所持せる數名の一味が絶へず出入し、何時慘事を惹起するやも計られざる狀勢にありとの情報に甚き、當局では極秘裡に彼等無頼の徒の動靜につき調査をつゞけてゐるが既にリストも出來上り彈壓の日も目睫に迫つてゐる彼等の常套手段を見るに大言壯語、言はゞ用心棒の如く見せかけて業者に接近し常に兇器を懐中にのみ何等遺恨もなき遊客に云ひがかりをつけて喧嘩を吹きかけ或はダンサーを脅迫しては支那宿に連れ出し風紀を紊す等業者としてもこのダニの如き存在にはほと〳〵手を燒いてゐる有樣であるかくの如き

無頼 の徒の存在は明朗國都の治安上より見ても默視すべからざるものとして日滿警務機關は相呼應して徹底的彈壓の手を下すものと見られてゐる

二百卅家族の 集團移民 長野縣募集で

南米の移民制限滿洲は軍人でなくては行けない等のために長野縣下の海外移住希望者はためいきをついてゐたが拓務省では本年度から從來の武裝移民事業を敢行すべき意向をもつて居り、この政府の意氣込みに呼應じて半官半民組織の滿洲拓殖移民會社が愈々四月一日を以て實現の運びとなつた、而して拓務省では各府縣への移民家族數の割當は、その府縣の熱意の輕重を重視し先般河本拓務省事務官が長野縣に來縣の移民事業政策を檢討の結果非常な意氣込みを持つてゐる點を確め得るに至り約二百家族を長野縣に割當てる旨内報して來たので縣では正式決定を待つて募集に乘り出すこと丶なつた、なほ二百家族を選出する事となれば從つて左官大工理髮業者等約卅家族の自由移民を要すること丶なるので合計二百卅家族の募集に乘出す筈である

村上軍醫以下の遺骨 明日新京發凱旋

酷寒の北滿に匪賊討伐中不幸名譽の戰死を遂げた二等軍醫村上敬治氏以下勇士の遺骨は哈爾濱衞戍病院平野軍醫に護られ十二日午後三時四十分新京着市内高野山に安置官民の懇ろなる燒香を受け十三日午前九時三十分新京憲兵隊員の遺骨二體と共に大連より各原隊に喪の凱旋をすることとなつた遺骨の氏名出身縣左の如し

二等軍醫 村上敬治 滋賀
伍長 大谷行雄 北海道
上等兵 田代初次 佐賀
同 福谷準 長野
同 白井操 群馬
伍長 可兒秋雄 岐阜
曹長 日下部正雄 岐阜
一等兵 勤柄收 靜岡
曹長 野島秋一 同
上等兵 岡井庄一 同
二等兵 渡邊春一 同
伍長 加藤康太郎 同
三看長 田杉富雄 同
軍曹 定方祐吉 群馬
上等兵 増田讓平 靜岡
上等兵 土屋正美 同
曹長 櫻井智 長野
上等兵 津田幸次郎 富山
伍長 小林卯一郎 秋田
幹候補生 東海岩太郎 和歌山
一等兵 森重成 福井
伍長 堀地・留龜 高知
軍曹 有賀時雄 長野
上等兵 牛田善次郎 群馬
憲兵伍長 沼田重正 長野
憲兵上等兵 岩崎福太郎 靜岡

京大生遭難事件に 松井總長より關東軍に謝電

興安嶺學術遠征の京大生一行遭難報道に關し關東軍に於ては人命に關する事だけに甚だ遺憾なきを期する爲め空、陸各二回に亘り調査員を派遣して事の眞相探究に努めた結果遂に空、陸兩調査隊共完全に京大生一行との連絡に成功、世の不安を一掃するを得たのであるが、右に對し京大では松井總長の名を以て關東軍並に笠井○團の努力を謝すの電報を寄せて來た

謝電 興安嶺學術遠征隊遭難事件に關しては終始御配慮を辱ふしお蔭を以て無事豫定の行動を繼續中なる旨拜承し一同歡喜に堪えず、此處に深甚なる謝意を表す
京大總長 松井元與
關東軍參謀長閣下
笠井○團長閣下

日本婦人を一丸に 皇亞細亞運動へ 永田美那子女史北支で工作

滿洲國防婦女會顧問として活躍中の永田美那子女史は舊臘から北支に足を進め同地殷汝耕氏夫妻と會見し在北支人の妻として活躍してゐる日本人二百人を集め皇亞細亞（すめらあじあ）の新運動をなし、之による日滿支の提携親善に寄與すべく準備工作了へて多大な收穫をあげ九日歸京したが同運動の成果は期待されている

滿洲國軍警 慰問の夕 光明影戲院で

匪賊の掃滅と治安の確立に盡瘁してゐる滿洲國軍警の慰問計畫が發表されるや、これに贊同する聲が各方面から起り慰問袋募集の美しい企てが傳へられてゐるが、新京永春路光明影戲院では來る十四日から四日間にわたり「滿洲國軍警慰問の夕」を開催し昨年の觀艦式並に特別演習映畫等を併せ上演して四日間の賣上げの一部を寄附することゝなつた

◇……新京獵天狗の初手柄

新京獵友會天狗連 大猪六頭の獲物 大手柄を立て丶一昨日凱旋

昨年の猛獸狩で失敗した、新京獵友會の強者齋藤（一力）灰田（山形屋）藤井（千鳥）西藤（金華堂）の四氏は本年こそはと意氣込み三日午後一行は新京を出發し積雪零下四十度を下る間島省汪淸縣の密林地帶に現地獨立守備隊、森林警察隊の應援で堂々と歩を進め雪をけとばし山又山を追ひ廻し、大猪三頭、小猪三頭計六頭ノロ一頭を射止め滿洲狩獵界の未曾有の大獵をなし十日一行は鼻高々で歸京した（寫眞は大獵の大猪と一行）

壯絶な猛獸狩と 奥地軍警の辛苦實狀 ―西藤金華堂主の手柄話―

猛獸狩に成功し元氣一杯で歸京した、西藤金華堂店主は左の如く語つた

▽……△

私等一行は昨年の滿日猛獸狩に參加したが猪の足跡を認めることも出來ず失敗に期したので本年は是非とも大獵をせしめ吾が滿洲狩獵界のためにと意氣ごみ一行は吉林鐵路局栗原氏、同奉天鐵路總局伊達氏を加へ三日新京を出發し四日午前十時圖寧線大荒溝驛に到着同地守備隊後藤中尉から奥地一般の情況を聽き同中尉の引率で同隊駐屯地である鷄冠磊子に一泊し五日出發し吾々の目的地である火家營に到着（大荒溝驛から西南方八滿里我が守備隊○○名森林警察隊八十名の應援を得て零下四十度を下る密林地帶に足を進め猪の足跡を捜査し足跡を捜査し奥へ奥へと進む内吾々一行の前方二百米の山腹で大猪三頭が樂しく遊んでゐるを發見したので一行は勇躍して直に銃を構へ猪を目懸けて一齊射撃をなし、大猪二頭を射止めたが不意を喰つた大猪一頭は怒りながらに密林地を奥へと逃走したので一行はこの時とばかりに逃げる一頭を追つたが發見することが出來ず、その日は宿泊地である火家營に歸り翌六日再び同地帶に入り獲物を求めたるも發見することは出來なかつた

▽……△

七日は午前六時出發前日と方法を變へ三組に別れ包圍形隊をとり順次包圍線を縮めてゐる内大猪一頭小猪一頭を發見した（午前十一時）のでこれまた三方から一齊射撃をあびせ遂に二頭を射止め山麓に運んでゐる途中今度は小猪二頭が飢を求めてゐるを發見し同樣簡單に射止め更にノロ一頭を射止め同地で祝杯を擧げ歸京した譯である、今回の狩獵は非常な好成績であつた私達がこれ丈の大獵を得たことは獨立守備隊、森林警察隊員の應援によるもので自分達この兩隊員の方々に心から感謝の意を表してゐる次第です

▽……△

話が變りますが今回の狩獵で自分達が感心したことは守備隊森林警察隊員の生活狀態である同地方は共産匪の巢窟で從來散在してゐた人家は燒き拂ひ、集團部落としてゐて各集團には我が守備隊が駐屯し警備にあたつてゐる、この警備隊員は十一月まで天幕を張つてゐたが寒氣を防ぐため、丸太を重ね針金で縛り重ね屋根は五分板を打ちつけ全くのバラック建てを造りその中で防寒服を着して事務をとつてゐる樣な有樣である自分達もこのバラック内に三泊したが寢ることが出來ずくしお話にならない、我が皇軍がこうした寒さをしのいで國防の第一戰に立つてゐることを思へば何んと言つてよいてお禮の言葉を述べてよいか判りません

明治會支部 會旗授與式擧行

明治會新京支部に本部から支部旗が今度授與されたので同支部では十二日午後一時から室町小學校講堂において支部旗授與式を兼ねて新年宴會を開く、同支部旗は畏くも今上陛下御即位式の御式場に張られた幔幕を明治會本部に御下賜になつたもので謹製された得難いものである

社金四千圓を拐帶 戀の逃避行 國際運輸社員釜山で捕まる

【ハルビン國通】國際運輸ハルビン支店貨物支拂係勤務内野正義（二六歳靜岡縣）は社金四千圓を拐帶し一面街料理店深川の藝妓戀丸を一千八百圓で身受けし去る廿八日戀の逃避行を敢行したが當地領警よりの手配により釜山の朝鮮運輸會社に潜伏中を逮捕された旨十一日朝領警署に通知があつた

岩越本部隊 廿一柱の慰靈祭

【ハルビン國通】岩越本部隊では今期討伐中戰歿せる將兵村上軍醫以下廿一柱の慰靈祭を十一日午後三時より當地西本願寺別院に於て執行した

粗忽鮮人運轉手 新京會館ダンサーを轢き倒す

市内ダイヤ街現代タクシー運轉手朝鮮生れ金雲弘（二四）は十日午後二時頃南廣場大同倶樂部前路上に於て新京會館ダンサー小林ユリ子（二九）をはね飛し全治十五日の重傷を負はせ十一日被害者の訴へにより本署にて取調べを行つてゐるが、同運轉手は九日も中央通中央郵便局横通りに於て自轉車に乘れる滿人を後方よりはね飛ばしたまゝ逃走した事件あり、新京署では嚴重取調べの上事實とせば交通取締上斷乎たる處置をとるものと見られてゐる

新設兩校の 學級割當内容 目下本社に申請中

新設第五、第六兩小學校の定員學級その他については夕刊既報の通りだが、その學級割當は左の通りである

▲櫻木小學校 第一、二學年各四學級第三、四、五學年各三學級合計十七學級

▲三笠小學校 第一、二、三、四、五學年各二學級合計十學級

また職員組織は左の通り申請中である

▲三笠小學校 辻（校長）、岩瀨（首席）、岸上、大久保、山口、松下、德弘、以上室町小學校からその他内地から五名

▲櫻木小學校 大内（校長）塚本（首席）、清水、三輪、三橋、坂根、東、平野、前澤、永田以上白菊小學校からその他内地から十名

全滿氷上選手權大會 奉天で開催す

【奉天國通】滿洲豫選昭和十一年度全滿氷上選手權大會兼全日本氷上選手權大會滿洲豫選第一日は十一日午前九時より奉天國際リンクに於て華々しく開幕された、此の日午前十一時、氣溫一度、風速六米二と言ふ非常に悪いコンディションであるが奉天、大連、安東、新京、撫順各地より集つた男女選手二百五十餘名は何れも晴の制覇を目指し涙ぐましい奮鬪振りである、午前中の成績左の如し

△女子五百米 一江島八重子（奉天）五十五秒七 二今村俊子（奉天）五十六秒二 三岩田美代子（撫順）五十六秒六 四壹岐いさ子（安東）五十六秒七、五村山菊子（奉天）五十七秒一

△男子五百米 一三代正勝（撫順）四六秒三、二大川博（新京）四六秒六 三朴潤哲（撫順）四六秒九 四木谷浩（安東）四七秒一 五木谷德雄（安東）四七秒二

午後の成績

全滿氷上選手權大會第一日の午後は引續き曇天候の裡に續行されたが、各選手の意氣物凄く手に汗を握る大接戰を展開、午後二時五十分第一日の幕を閉じたが、午後の成績は左の如し

△男子五千米 1松元茂（撫順）一〇分一八秒三 2安達和男（奉天）一〇分一八秒六 3橋本恒（奉天）一〇分四七秒六 4木谷浩（安東）一〇分五八秒四 5朴潤哲（撫順）一一分五秒 6阿武剛（奉天）一一分四.秒三

△女子三千米 1今村俊子（奉天）八分一九秒 2村山節子（奉天）八分二四秒六 3村山菊子（奉天）八分三五秒五 4江島八重子（奉天）八分八五秒六 5古谷睦子（大連）九分二秒九 6岩田美代子（撫順）九分一五秒六

尚第二日は引續き十二日午前九時より開始される

松岡總裁 安奉沿線初巡視

【大連國通】松岡滿鐵總裁は十三日大連出發安奉線方面の巡視を行ひ十五日頃歸連の豫定

驛增築工事で 食堂休業

新京驛の增築工事もいよ〳〵竣成し出札窓口、改札係、官憲詰所などもいよ〳〵數日後移轉するが、これらの移轉と同時に引續いて助役室、構内食堂の改增築に着工しそのため構内食堂も十五、六日すぎから一時休業する、食堂の休業期間は大體四十日位の豫定である

駐滿海軍部の 新年宴會

十二日午後五時から駐滿海軍部において現役海軍將士、海友會合同の新年宴會が催される

東京春場所 二日目の成績

【東京國通】東京相撲春場所二日目の成績左の如し

（勝）		（負）
加古川	（下手投げ）	照錦
綾若	（外かけ）	星甲
大浪	（あびせ倒し）	天城山
太刀若	（寄り倒し）	五ッ島
中入後		
伊達の花	（寄り倒し）	錦華山
射水川	（押し出し）	綾錦
玉の海	（つき出し）	九州山
筑波嶺	（寄り切り）	楯甲
駒の里	（寄り切り）	三館山
土州山	（寄り倒し）	防長山
大八洲	（はたきこみ）	和歌島
富の山	（寄り切り）	海光山
桂川	（寄り切り）	綾川
松前山	（わたしこみ）	大邱山
金湊	（押し切り）	幡瀨川
新海	（かけもたれ）	磐石
巴潟	（まきおとし）	出羽湊
綾昇	（切りかへし）	番神山
瓊の浦	（うつちやり）	高登
大潮	（寄り切り）	出羽の花
男女の川	（つきはなし）	鏡岩
清水川	（寄り倒し）	旭川
玉錦	（押し倒し）	笠置山
双葉山	（下手投げ）	武藏山

（打出し午後七時五分）

三日目取組

東	西
陸奥錦	照錦
磐城	谷ノ音
加古川	大浪
大刀若	星甲
中入	
射水川	五ッ島
錦華山	天城山
九州山	綾錦
伊達ノ花	大八州
桂川	防長山
楯甲	富ノ山
三館山	大邱山
和歌島	玉ノ海
筑波嶺	綾川
海光山	駒ノ里
幡瀨川	折海
出羽湊	金湊
土州山	瓊ノ浦
笠置山	松前山
旭川	高登
綾昇	磐石
番神山	鏡岩
双葉山	清水川
男女ノ川	出羽ノ花
巴潟	武藏山
玉錦	大錦

落語　七福神(二)

橘家金城

番「オイ〳〵船屋さん船屋さん」

船「ヘエ」

五「一枚幾らだね」

船「四文でございます」

五「十枚は」

船「四十文でございます」

五「百枚は」

船「四百文でございます」

五「何處まで行つても四の字に縁が切れません、止しませう」

船「ナニッ」

五「止しませう、しぬ、しくじる、しじゆうしそんじるなどといつて、しの字は誠に縁起の悪いものだから止めます」

船「旦那ぢやアお前さんはひやかしかい」

五「イヤひやかしといふ譯ではないが、お前のいひ草が氣に入らないから買はないといふのだ」

船「馬鹿にするな、箆棒めえ去年といふ年は悪い事ばかり續きやがつて、嬶には死なれ子供は痲疹の上りに疱瘡、縁起直しに友達が寶船でも賣つたらよからうといふからその氣になつて賣りに出た、今日明けだといふのにケチを附けられちやア今年も碌な事はねえや、覺えてやがれ、近々に來て汝の社で首を縊るから、さう思つてゐろ」

五「ア、厭な事をいふ、鶴龜〳〵」

番頭さんが幾らか持たして船屋を歸してしまふ

五「縁起直しによい穀を買つて、初夢でも見たいものだ」と主人がブツ〳〵いつてをります、番頭さんが氣が利いてゐるから、そつと家を脱出して四角で待つてゐる所へ威勢のよい船屋が

船「寶船〳〵お寶〳〵〳〵」

番「船屋さん」

船「ヘエ」

番「此の先に伊勢屋といふ呉服屋があるがね、誠に旦那が物を氣にする性分だが、船は一枚幾らだい」

船「四文で御ざいます」

番「四文ぢやいけない、よ文といつておくれ」

船「畏まりました、お氣になさる旦那なら、總てが目出度いづくめに致しませう」

番「さうかい、ぢやア何分頼みます」

船「お寶〳〵縁起のいい寶船でございい」

五「オヤ大層威勢のいい船屋が來ました、船を買ひませうオイ船屋さん〳〵」

船「ヘイ〳〵」

五「船を買ひ度い、一枚幾らだい」

船「一枚よ文でございます」

五「よ文は嬉しいね、どの位有るな」

船「ヘエ、旦那様のお歳の數ほどございます」

五「有難いな、私の歳を人に買はれてしまふのは縁起が悪いから、殘らず買ひませう」

船「有難う存じます、大寶でございます」

五「十二大寶、ます〳〵氣に入つた、いゝ心地だ、此方へおはいんなさい」

船「有難う存じます、いよ〳〵寶船の舞込みでございます」

五「成ほど、一々いふ事が嬉しいね、余り縁起が宜いから船屋さん、お前に一口屠蘇を上げやう」

船「ヘエどうも有難う存じます」

五「お前さんは何かい、お住居は何方だい」

船「ヘエ私の住つてをります處は、日本橋の金吹町でございます」

五「成程、金が吹出すといふので金吹町、縁起がいいなこのごろにお尋ね申すよ」

船「イエ、それから移轉しました」

五「オヤ〳〵何方へお移轉だ」

船「淺草の壽町へ」

五「成ほど、壽といふ字は壽命の壽の字だ縁起がよいなぢやア今度觀音様へでも御參詣に行つた時に、お訪ね申すよ」

船「それから都合でまた移轉しました」

五「大層移轉で歩きなさるな、何方へ」

船「本所の千歳町へ移轉しました」

五「千歳町へ、千歳の松などといつて、これも縁起がいいな、本所の千歳町といへば大して遠くもない、その内にお訪ね申すよ」

船「それから又都合で越しました」

五「よく移轉して歩きなさるな、何處へ移轉なすつた」

船「淺草の福井町で」

五「成程、福は誠に縁起の宜いものだ、その内にお訪ねをする、誠に威勢の宜い船屋さんだから一口上げたいと思ふが、此方へ上つで御飯でも食べて緩りお歸り」

船「どうも旦那有難う存じます、私はモウ殘らず寶をお宅へ置いてまゐるのでございますから、モウ緩くり頂戴を致します」

五「寶を殘らず置いて行くなどは嬉しかつたね、サア〳〵一杯飲んで下さい、大分飲めそうだね」

船「ヘエモウ處ぢやございません、正覺坊で幾らでも頂戴致します」

五「正覺坊は嬉しかつたねオイオイ辛い方を持つてお出でよ……サアサア遠慮なくやつて下さい」

船「どうも御馳走で有難う存じます……旦那此奴はどうも豪儀ですな、結構なお重詰で、午蒡さん乾鯰に御成人といふのはいかゞで」

五「成程、洒落が宜ない、午蒡さん乾鯰に御成人は嬉しかつたね」

船「數の子なぞは數々目出度い」

五「成程、宜いね、サア〳〵緩くり飲つてお呉れ」

船「千瓢さんは三十……オツト危ねえイエナニます〳〵御目出度うございます」

五「イヤ誠にいゝ心地だ、サア〳〵遠慮なく飲つておくれよ」

船「有難う存じます、お目出度う存じます、今何でございますか一寸彼處から顔をお出しになりましたのは、御當家のお孃様でございますか」

五「ア、私の娘だよ」

船「お美しい方ですな、宛然でどうも辨天様のやうですな」

五「有難いね、孃を辨天とは嬉しいぢやアないか、オイ〳〵何や、錢入を出してくれこれは孃の辨天賃だよ」

船「どうも有難う御座います、恐れ入りましたな、貴方のにこやかな處はどうしても惠比須様のやうでございますな」

五「惠比須とは有難いね、商人が惠比須に似てをれば、こんな結構な事はない」

船「それで御當家は、七福神でございますな」

五「エ、船屋さん一寸待ちなよ、孃が辨天、私が惠比須それぢやア二福ぢやないか」

船「イエ御商賣が、呉服(五福)屋さんでございます(終り)」